

※□内は、ロットNo.表示位置を示します。

■施工される方へのお願い

- 同梱されている取扱い説明書は、必ず施主様へお渡しください。
- 本説明書で使われているマークには以下のような意味があります。

▲注意…取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

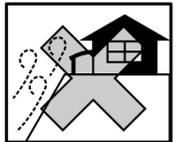
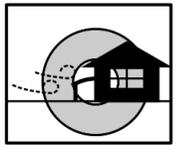
※製品破損による人への被害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

■設置条件

- それぞれの地域に対応したテラスをお選びください。
一般地域600タイプ→耐えられる積雪量の目安20cm相当〔600N/㎡ (61.2 kgf/㎡)〕
特殊地域1500タイプ→耐えられる積雪量の目安50cm相当〔1500N/㎡ (153.0 kgf/㎡)〕
特殊地域3000タイプ→耐えられる積雪量の目安100cm相当〔3000N/㎡ (305.9 kgf/㎡)〕
- 本製品は、タイプ・サイズごとに設置可能な階数が決まっています。下記の表に従って取り付けてください。

サンクテラス 上止めタイプ	1階	2階	3階
3・4尺	○	○	関東圏のみ○
5・6尺	○	○	×
7~10尺 12・15尺	○	×	×

- 柱の移動は、当社指定範囲内にしてください。
- 他社商品 (バルコニー等) と組み合わせて設置しないでください。
- 高い建物のそばや周りに障害物がなく、直接強い風が吹くような場所では補強プレスで製品の補強をしてください。
- 母屋の屋根からの雪が直接落ちない場所に設置してください。落雪により製品が破損するおそれがあります。
- 風当たりの強いところでは風が抜けなくなりますので、テラスの周囲を囲わないでください。
- 崖っぷちなどの高低差のあるところには設置しないでください。



■躯体への固定

- タッピンねじは柱・間柱・胴差し等の構造材に必ず止めてください。躯体位置が分からない場合、及び躯体が強度保持できない場合は取り付けしないでください。
- 躯体が経年変化などで損傷が著しい場合は、お施主様と打ち合わせをし、必要に応じて補強してから取り付けしてください。
- プラグ類を使用して、モルタル部分だけで固定することは非常に危険ですから絶対に行わないでください。
- タッピンねじの下穴には、指定より太いドリルを使用しないでください。

■部材の固定

- 組立てねじ・ボルトは必ず指定のものを使用してください。又、使用中ゆるまないように締め付けてください。

■施工時の足場について

- 施工時は必ず足場を設け、転落などの危険がないようにしてください。

■基礎について

- 基礎は当社指定寸法以上にしてください。
- 海砂を使用の場合は水洗いしたものを使用してください。アルミが腐食するおそれがあります。
- 施工前に調査を行い、地下埋設物 (給排水管など) に影響を及ぼさないようにしてください。
- 寒冷地では凍上線より下まで柱を埋め込んでください。凍上により浮上するおそれがあります。
- 柱 (屋根柱は除く) には水抜きできるよう、柱基礎には必ずぐり石を敷き、柱と基礎の付け根に水抜き穴 (φ6) をあけてください。柱間の水が凍結膨張し、柱が破損するおそれがあります。
- 養生期間は十分 (4日~1週間以上) にとり、その間は、重たいものをのせたり、振動を与えたりしないよう指示してください。

■パネルについて

- 屋根パネルは当社指定品をご使用ください。
- 屋根の取付けは垂木へののみこみが左右均等になるようにしてください。パネルが強風により、飛散するおそれがあります。

■施工上について

- 施工は専門業者が行ってください。
- みだりに改造・変更をしないでください。
- 前枠の内観右側にブランドラベル (商品名シール) が張ってあります。間口切り詰めをする際には、ブランドラベル (商品名シール) がなくならないようにしてください。
- 当社指定の付属品以外は取り付けしないでください。

※製品腐食のおそれがありますので下記事項を厳守してください。

■絶縁処理

- アルミ型材が垂鉛・ステンレス以外の金属と接触するときは、絶縁処理をしてください。

※水漏れのおそれがありますので下記事項を厳守してください。

■シーリングについて

- シーリングは指定個所に必ず行ってください。
- 外壁の上から部材を取り付ける場合は、シーリング材を下穴に充てんしてからねじ止めしてください。

■施工上のおお願い

- 水平・垂直は水準器などで正確に出してください。
- 本取付説明書はRタイプを基本にした説明となっています。特に注記がない場合は、Fタイプも同様の取付方法になります。

■構造説明図

●Rタイプ

7野縁

※野縁本数/スパン

	600タイプ	1500タイプ	3000タイプ
3・4R	1	1	1
5・6R	2	2	2
7・8R	3	2	—
9・10R	2	2	—

10端部垂木カバー

■基礎サイズ表 (A寸法)

タイプ		1.0間	1.5間	2.0間	2.5間通し	3.0間通し
600タイプ	3R	□300	□300	□300	□300	□350
	4R					
	5R					
	6R					
	7R					
	8R					
1500タイプ	9R	□500	□500	□500	□500	□550
	10R					
	3R					
	4R					
	5R					
3000タイプ	6R	□500	□500	□500	□500	□500
	4R					
	3R					

※本説明書は下表○印のサイズについて説明しています。

600タイプ

	1.0間	1.5間	2.0間	2.5間通し	3.0間通し
3~6尺	—	—	—	—	○
7~10尺	○	○	○	○	○
12・15尺	○	○	○	○	○

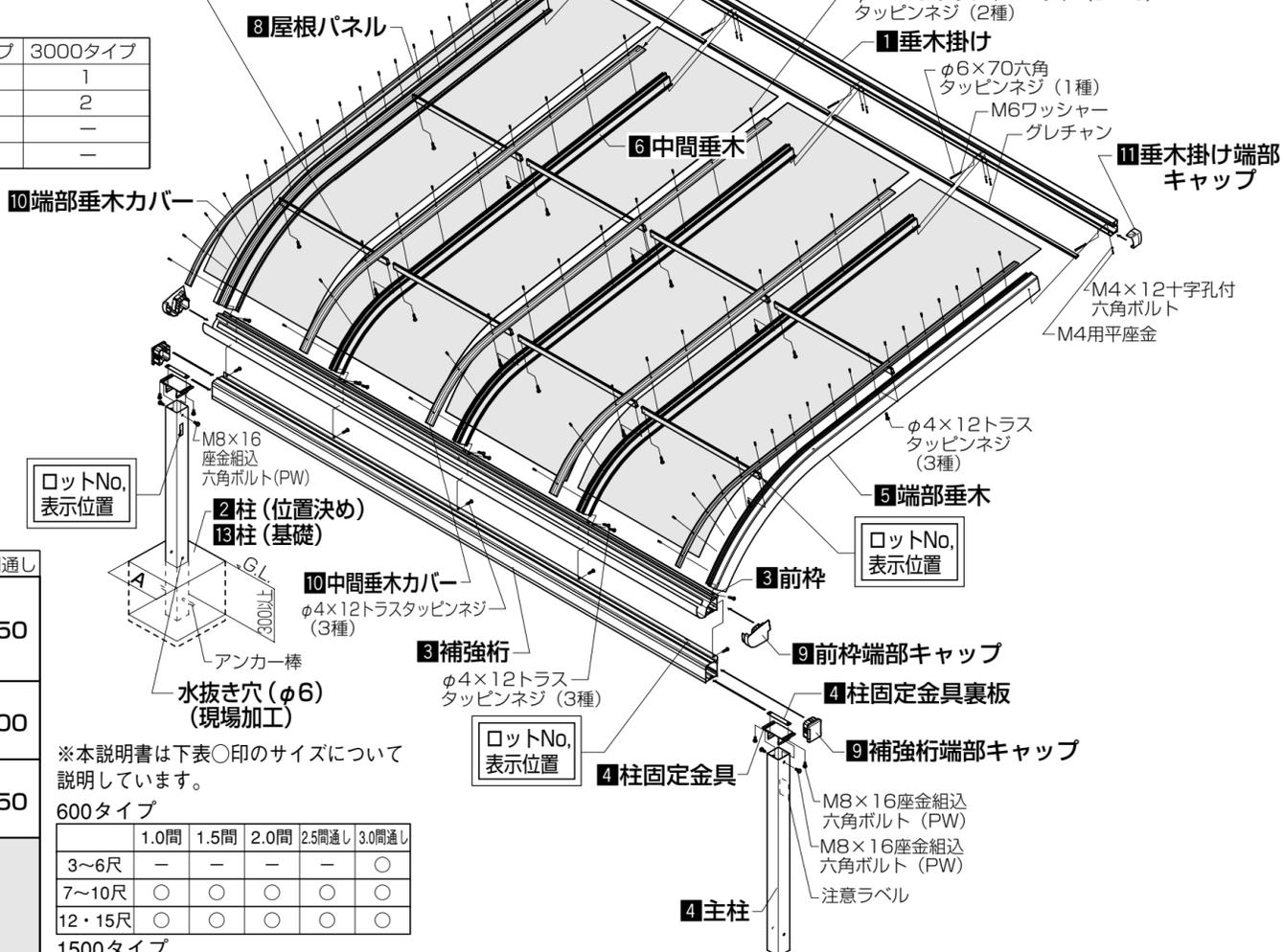
1500タイプ

	1.0間	1.5間	2.0間	2.5間通し
3~6尺	—	—	—	○
7~10尺	○	○	○	—

3000タイプ

	1.0間	1.5間	2.0間
3~6尺	○	○	○

※図は、サンクテラスRタイプ600タイプ
間口2.0間、出幅7尺を示します。



※出幅9尺以上は屋根パネルピッチが1/2になります。

●Fタイプ

7野縁

※野縁本数/スパン

	600タイプ	1500タイプ	3000タイプ
3・4R	1	1	1
5・6R	2	2	2
7・8R	3	2	—
9・10R	2	2	—

10端部垂木カバー

■基礎サイズ表 (A寸法)

タイプ		1.0間	1.5間	2.0間	2.5間通し	3.0間通し
600タイプ	3R	□300	□300	□300	□300	□350
	4R					
	5R					
	6R					
	7R					
	8R					
1500タイプ	9R	□500	□500	□500	□500	□550
	10R					
	12R					
	15R					
	3R					
3000タイプ	4R	□500	□500	□500	□500	□500
	5R					
	6R					

※本説明書は下表○印のサイズについて説明しています。

600タイプ

	1.0間	1.5間	2.0間	2.5間通し	3.0間通し
3~6尺	—	—	—	—	○
7~10尺	○	○	○	○	○
12・15尺	○	○	○	○	○

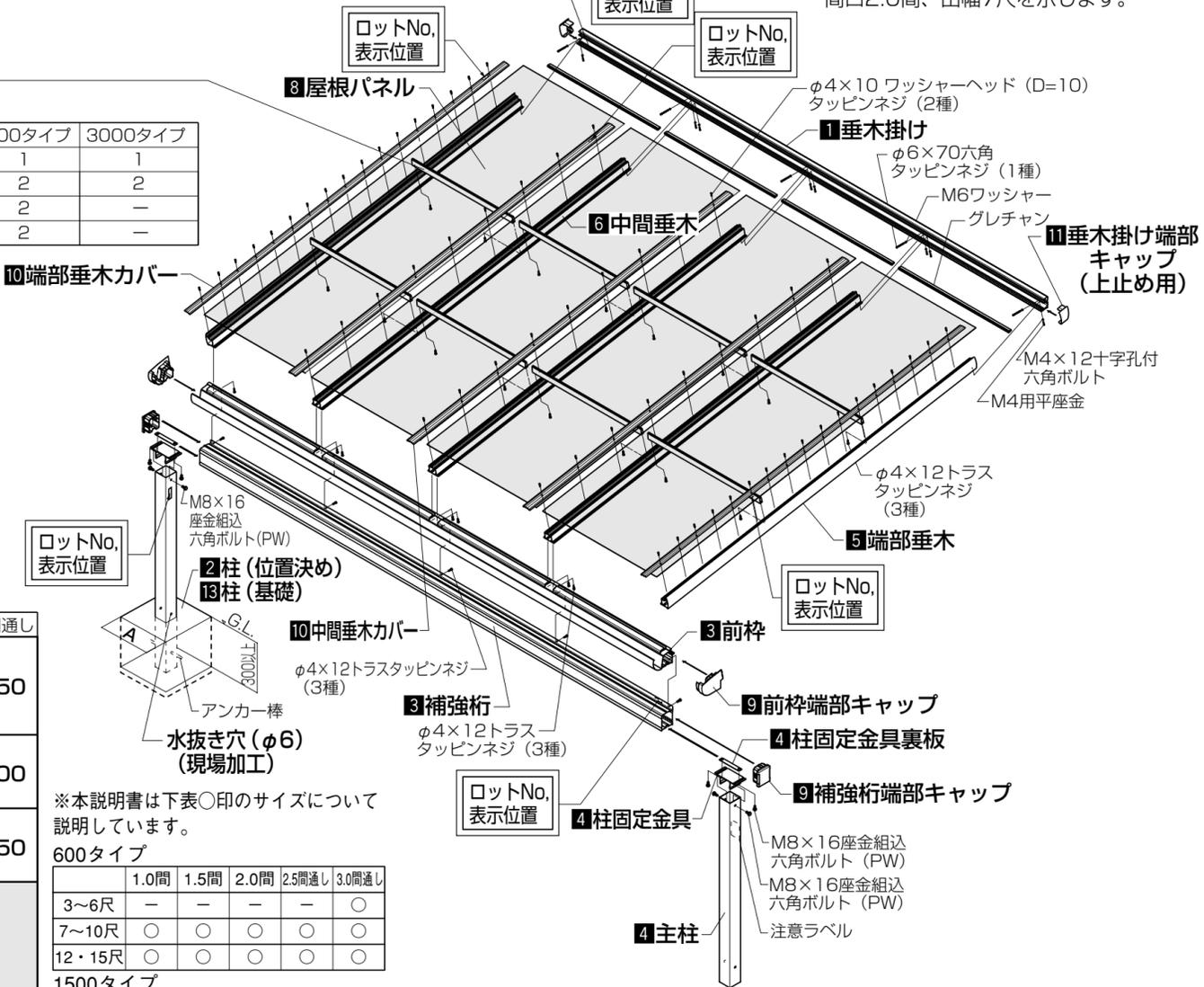
1500タイプ

	1.0間	1.5間	2.0間	2.5間通し
3~6尺	—	—	—	○
7~10尺	○	○	○	—

3000タイプ

	1.0間	1.5間	2.0間
3~6尺	○	○	○

※図は、サンクテラスFタイプ1500タイプ
間口2.0間、出幅7尺を示します。

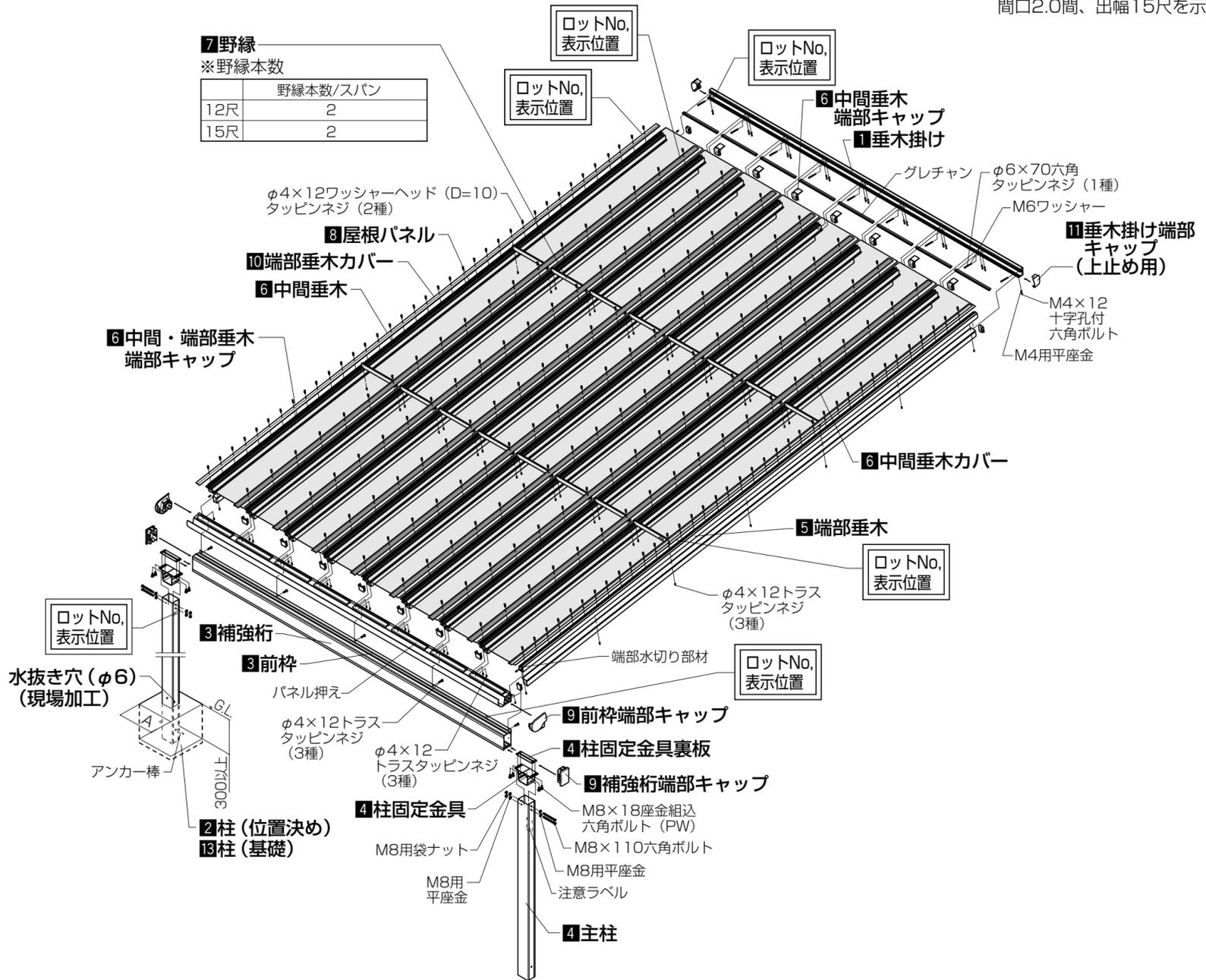


※出幅9尺以上は屋根パネルピッチが1/2になります。

■構造説明図

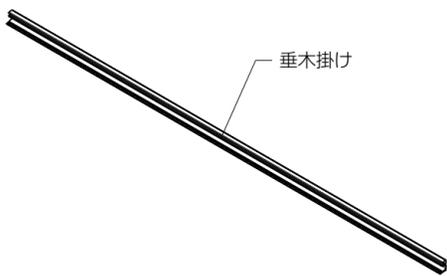
●Fタイプ 12・15尺

※図は、アルファテラスF型600タイプ
間口2.0間、出幅15尺を示します。



■取付け手順

1 垂木掛けの固定



2 柱の位置決め

<柱を基礎で固定する場合>

- ① 柱埋込み位置決定
- ② 柱の仮固定

■取付け詳細

1 垂木掛けの固定

① 垂木掛けを躯体に取り付ける際、必ず水準器で水平を出してください。

▲ 注意

- 垂木掛けは必ず躯体の柱・間柱などの構造材に取り付けてください。
- 躯体が経年変化などで損傷が著しい場合は、お施主様と打ち合わせをし、必要に応じて補強してから取り付けてください。
- 指定の個所に必ずシーリングしてください。

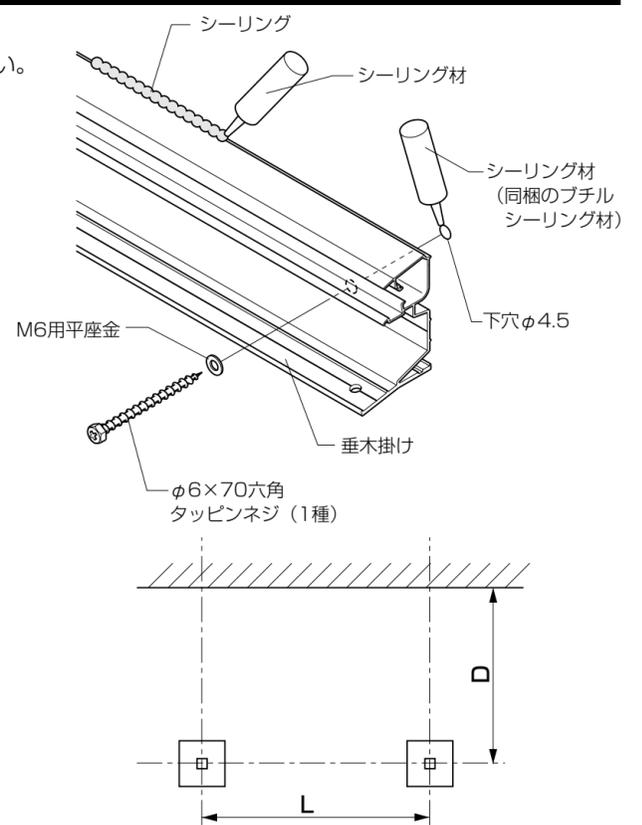
【関西間の場合】

垂木掛けに躯体取付け用の穴はあいていません。
柱及び間柱の位置に合わせてφ6.5の穴をあけてください。

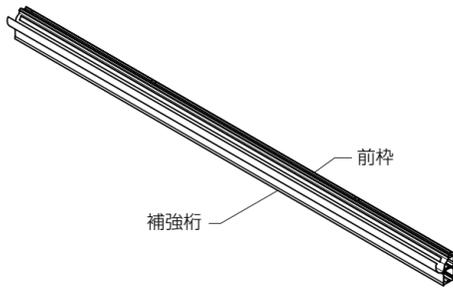
2 柱の位置決め

<柱を基礎で固定する場合>

- ※ 注意ラベルが必ず内側になるように設置してください。
- ① 柱埋込位置を出し、基礎穴を掘ります。柱の位置は右図と12P、15P、16Pの納まり図を参考に決めてください。
 - ② 柱が倒れないように仮固定してください。
- ※ 柱移動により雨樋が取付かない位置にならない様にご確認ください。

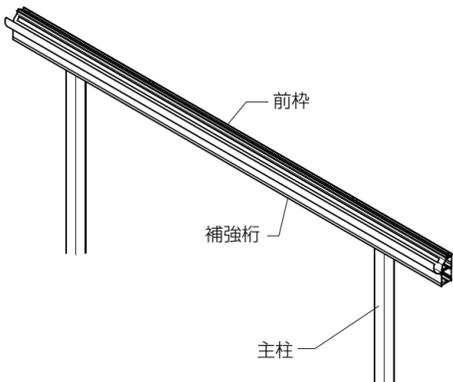


3 前枠-補強桁の取付け



4 柱-前枠・補強桁の取付け

- ①柱固定金具と前枠・補強桁の固定
- ②柱固定金具と柱の固定

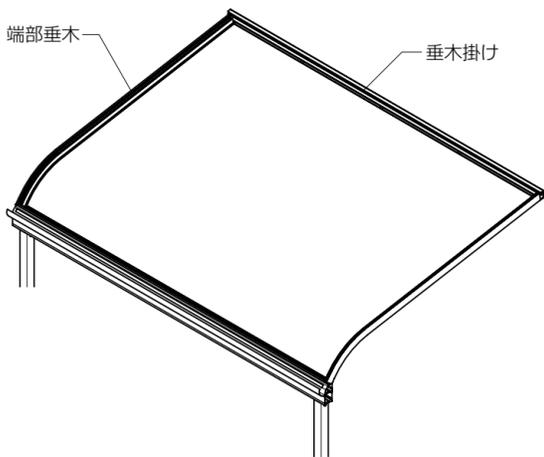


※間口が大きい場合、補強桁の重量が重くなるため、補強桁を柱に取り付けた後、前枠を補強桁に取り付けてください。

▲注意

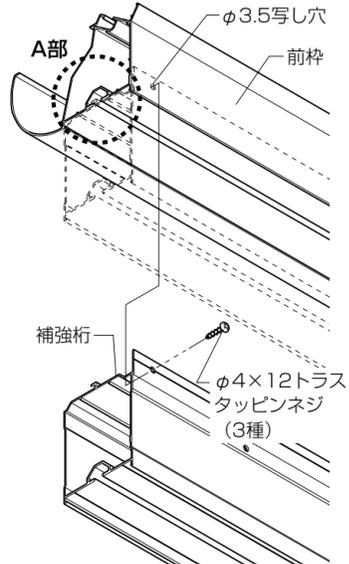
●前枠の内観右側にブランドラベル(商品名シール)が張ってあります。間口切り詰めをする際は、ブランドラベル(商品名シール)が残るように切り詰めてください。

5 端部垂木の取付け



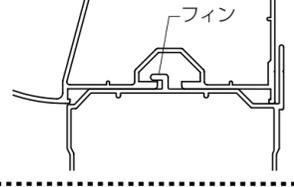
3 前枠-補強桁の取付け

- ①前枠にφ3.5の写し穴をあけた後、前枠と補強桁をねじ止めしてください。



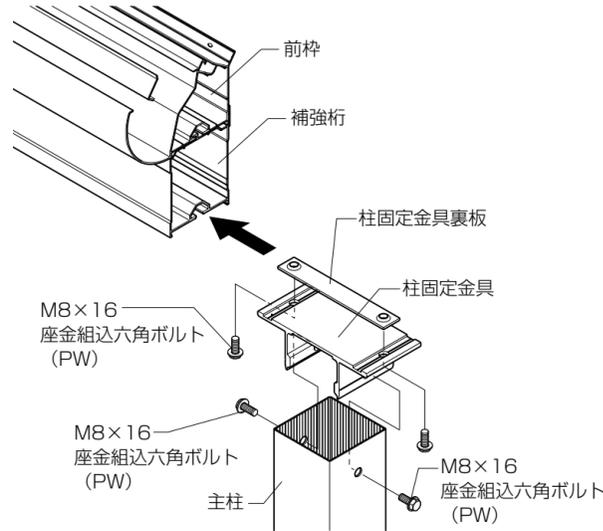
■A部詳細図

※フィンが引っ掛かっていることを確認して取り付けてください。

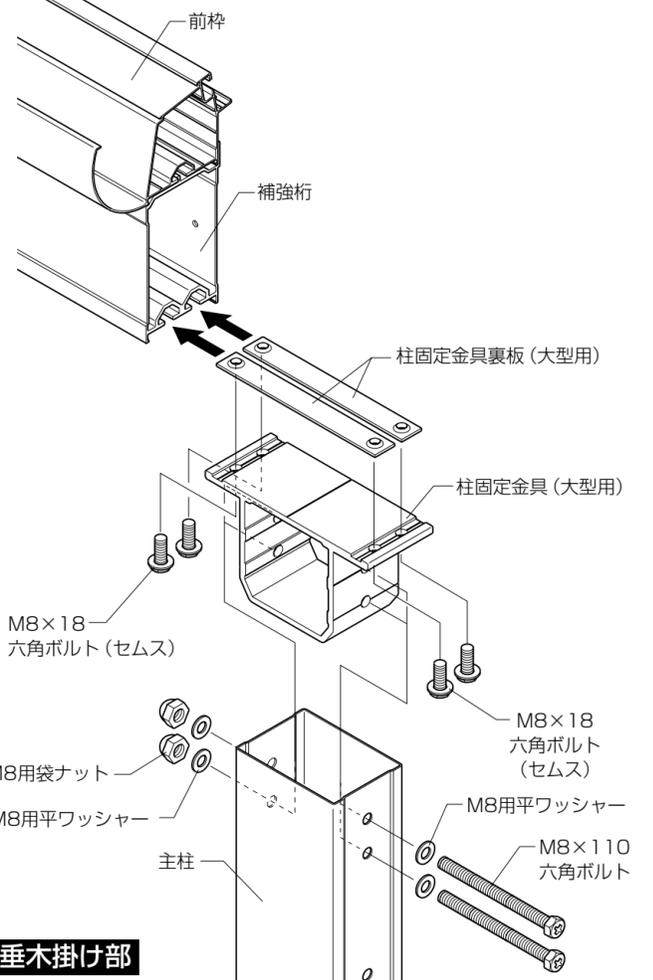


4 柱-前枠・補強桁の取付け

- ①柱固定金具裏板を補強桁の溝に挿入し、柱固定金具とボルトで仮固定してください。5の端部垂木を取り付けた後、直角を出して固定してください。
- ②柱固定金具を柱に差込み、固定してください。



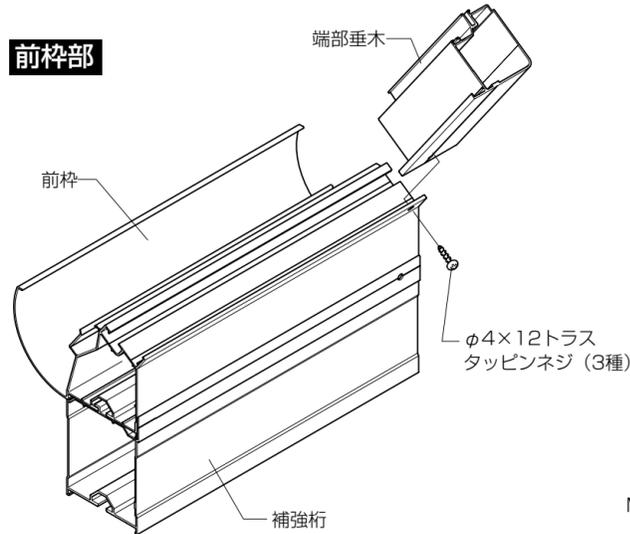
●12・15尺の場合



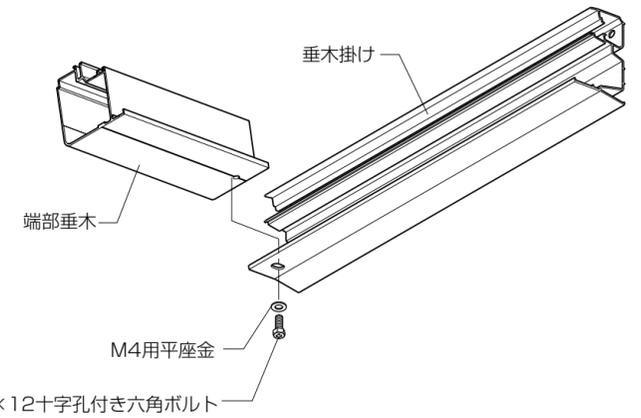
5 端部垂木の取付け

- ①図のように端部垂木を前枠・垂木掛けに取り付けてください。

前枠部

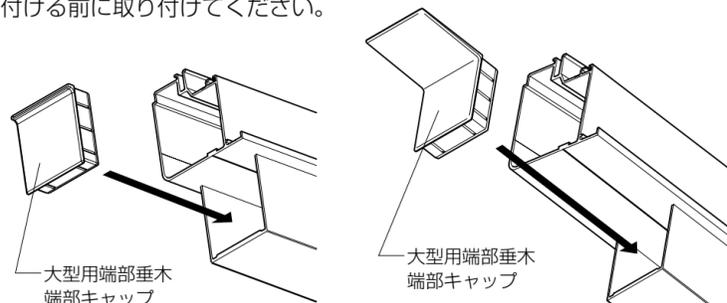


垂木掛け部



●12・15尺の場合

- ①大型用端部垂木端部キャップを取り付けてください。
 - ②図のように、端部垂木を前枠・垂木掛けに取り付けてください。
- ※大型用端部垂木端部キャップは、端部垂木を前枠および垂木掛けに張り付ける前に取り付けてください。

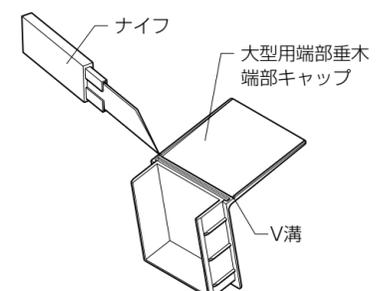


前枠側 (切欠き小)

垂木掛け側 (切欠き大)

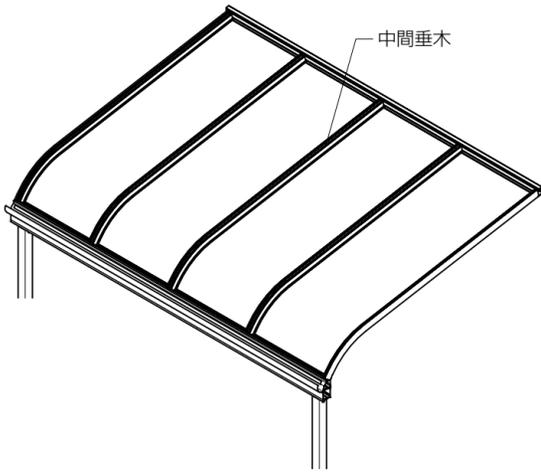
ポイント

- 大型用端部垂木端部キャップの加工前枠側に取り付ける大型垂木端部キャップのみ、ナイフ・カッター等でV溝にそってフィンを切断してください。



6 中間垂木の取付け

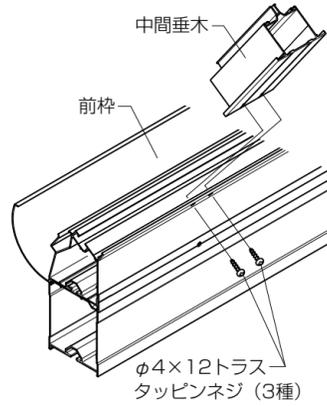
※補強垂木の取付け (1500タイプ 7・8尺)



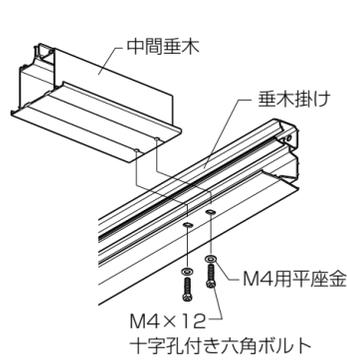
6 中間垂木の取付け

①図のように中間垂木を前枠・垂木掛けに取り付けてください。

前枠部



垂木掛け部



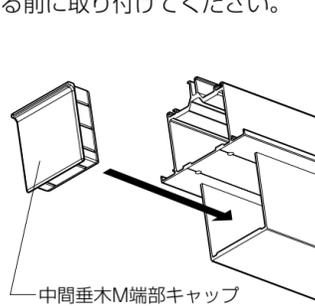
●12・15尺の場合

①中間垂木M端部キャップを取り付けてください。

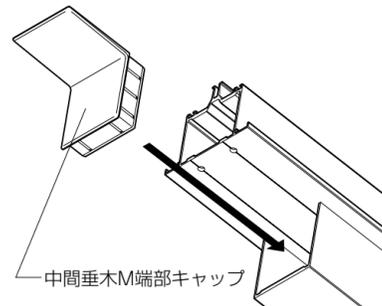
②図のように、中間垂木を前枠・垂木掛けに取り付けてください。

※中間垂木には、前後があります。前後の切り欠きが小さい方を前枠部に取付けてください。

※中間垂木M端部キャップは、中間垂木を前枠および垂木掛けに取り付ける前に取付けてください。



前枠側 (切欠き小)

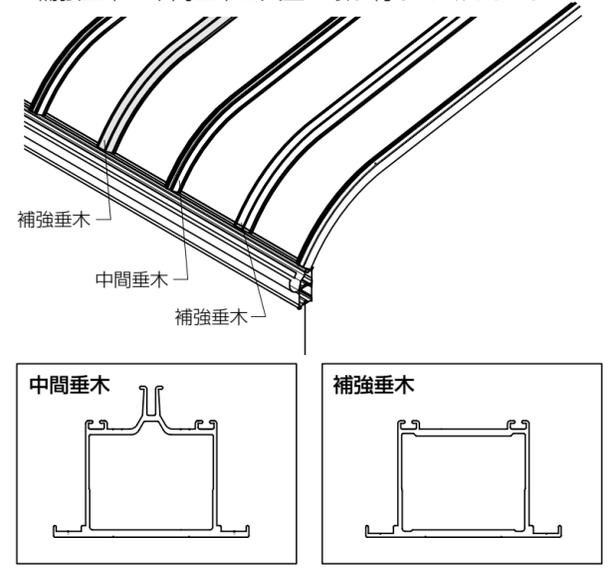


垂木掛け側 (切欠き大)

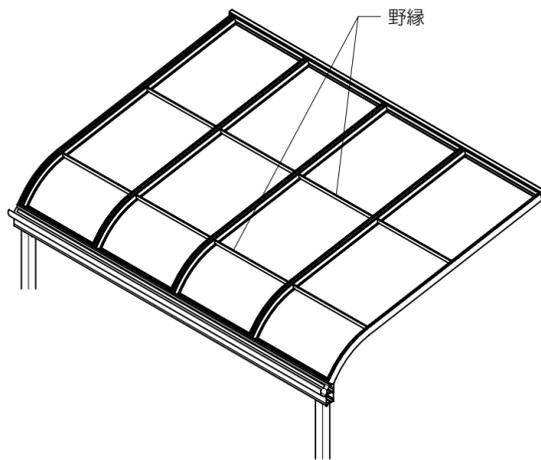
●補強垂木の取付け (1500タイプ 7・8尺)

補強垂木は中間垂木同様に前枠・垂木掛けに取り付けてください。

※補強垂木は中間垂木と交互に取り付けてください。

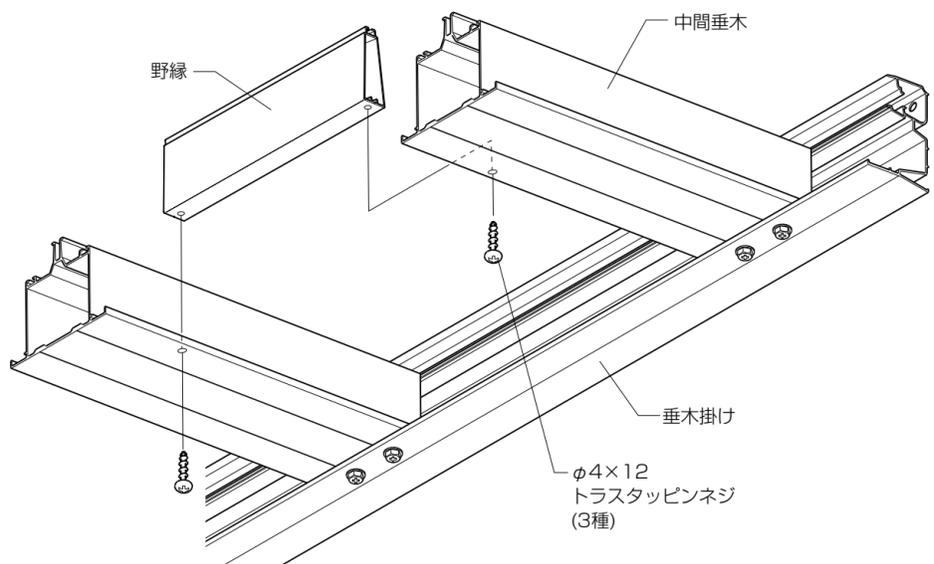


7 野縁の取付け



7 野縁の取付け

①真中のスパンから順に図のように野縁を垂木又は端部垂木にねじ止めしてください。

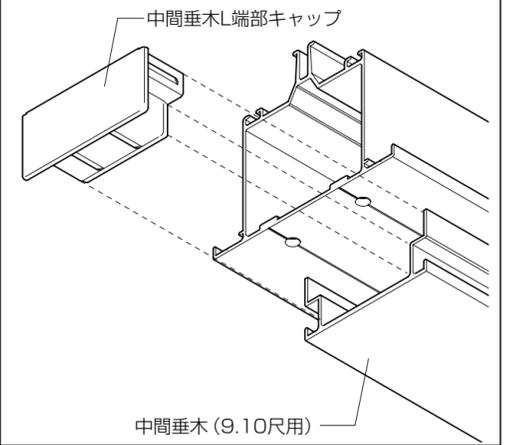


●Fタイプの場合

※中間垂木9尺用には中間垂木L端部キャップが取り付けます。

※中間垂木L端部キャップは、中間垂木を前枠及び垂木掛けに取り付ける前に取付けてください。

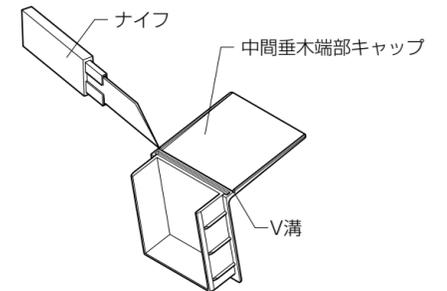
■中間垂木L端部キャップの取付け (1500タイプ9尺)



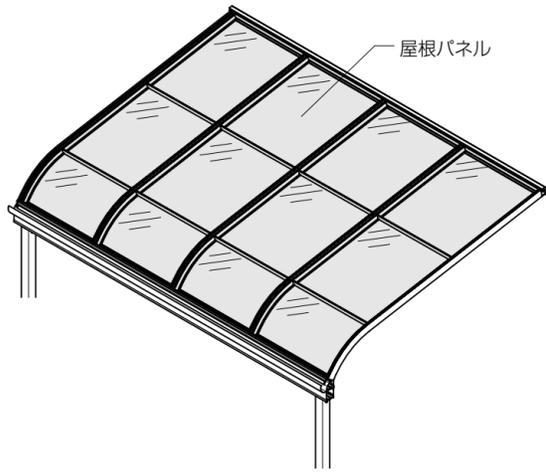
ポイント

●中間垂木M端部キャップの加工

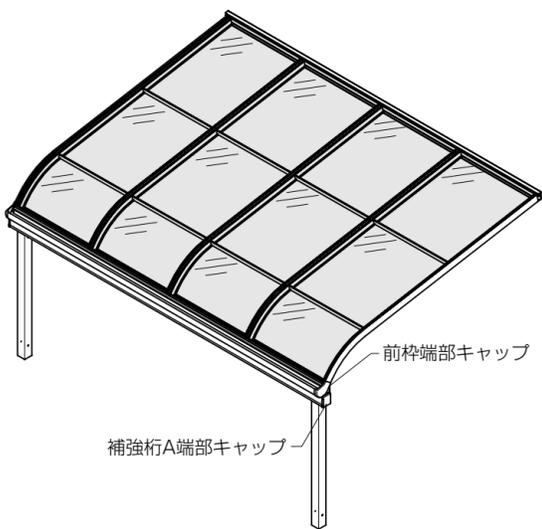
前枠側に取り付ける中間垂木端部キャップのみ、ナイフ・カッター等でV溝にそってフィンを切断してください。



8 屋根パネルの取付け



9 前枠端部キャップ・補強桁端部キャップの取付け

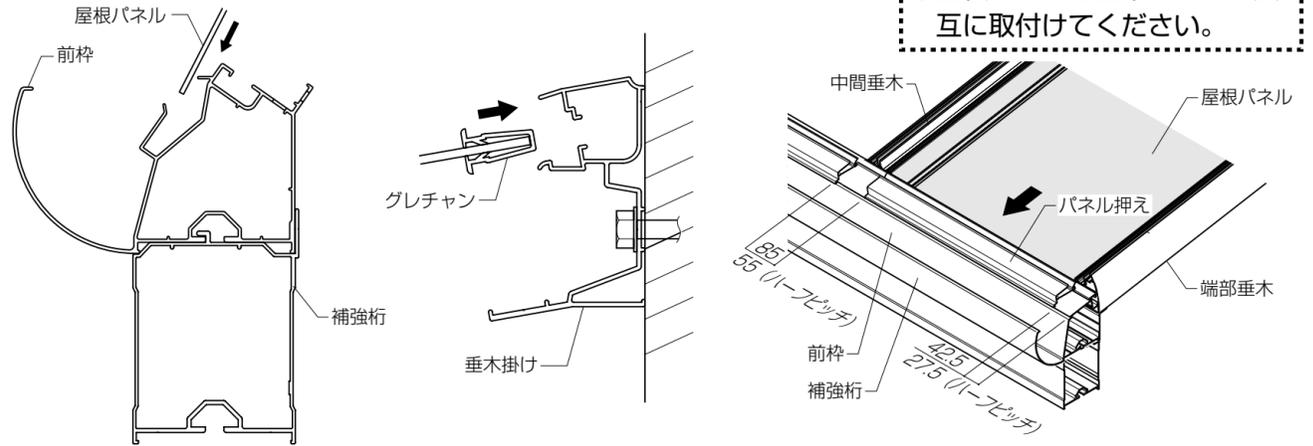


▲ 注意

● 指定の個所に必ずシーリングしてください。

8 屋根パネルの取付け

- ① 屋根パネルの取付け前に屋根パネルの養生シートをはがしてください。
- ② Fタイプの場合、パネル押えを図の位置に合わせます。
- ③ グレチャンを取り付け、図のように垂木掛け、前枠パネル押え部に取り付けてください。



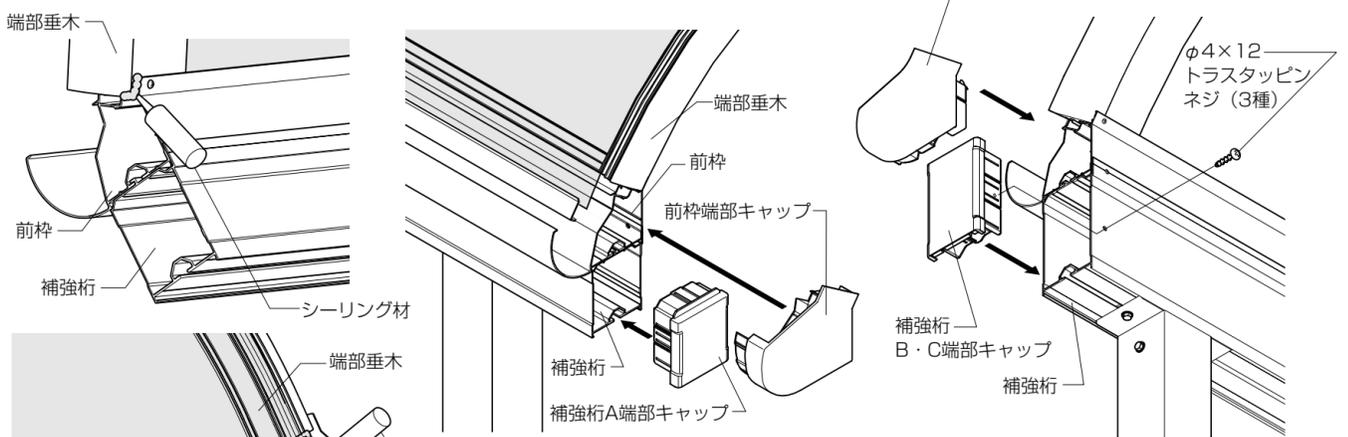
▲ 注意

● 屋根パネルと垂木カバーは交互に取付けてください。

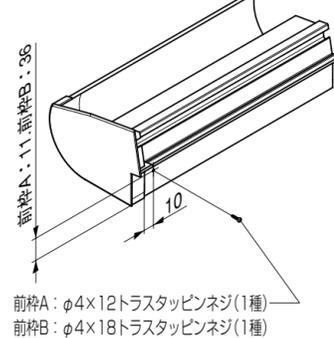
9 前枠端部キャップ・補強桁端部キャップの取付け

- ① 前枠と端部垂木の接合部に図のようにシーリングをしてください。
- ② 補強桁端部キャップにシーリングをした後、補強桁に取り付けてください。
※ 補強桁B・C端部キャップの場合は、補強桁端部キャップにシーリングをした後、補強桁にねじ止めしてください。
- ③ 下図を参考に前枠にφ3.5の穴をあけて前枠端部キャップにシーリングをした後、前枠に取り付け、さらに前枠内部にシーリングしてください。
※ 補強桁端部キャップは、前枠端部キャップを取り付ける前に取り付けてください。

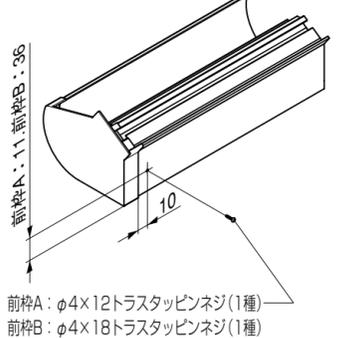
● Rタイプ



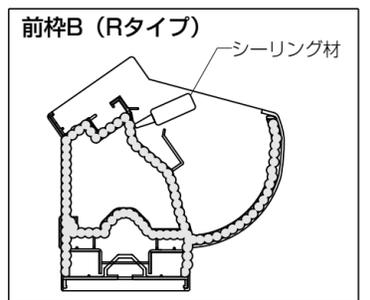
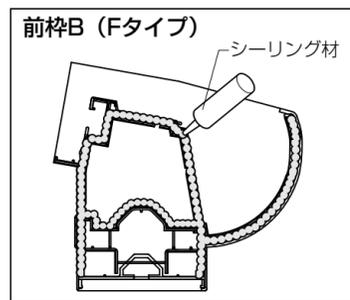
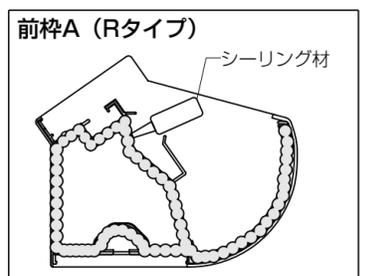
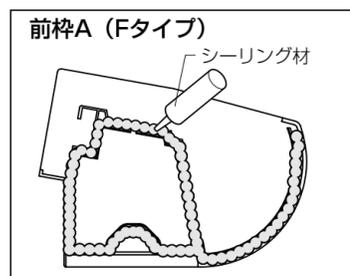
● Fタイプ前枠



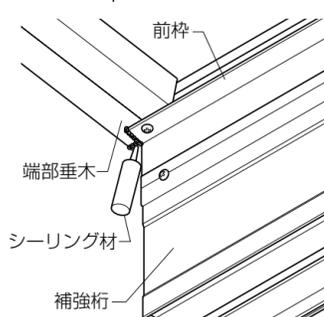
● Rタイプ前枠



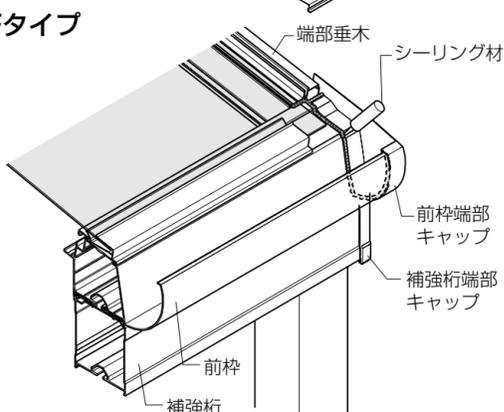
前枠AとBの区別は下図を参照してください。



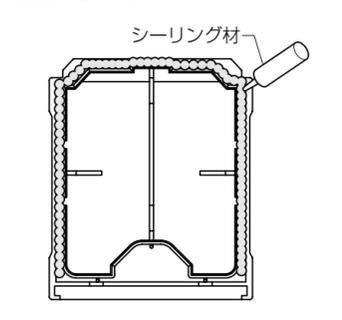
● Fタイプ



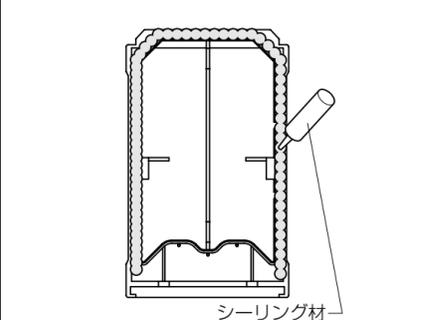
● Fタイプ



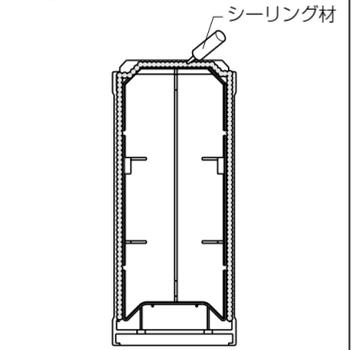
補強桁A端部キャップ



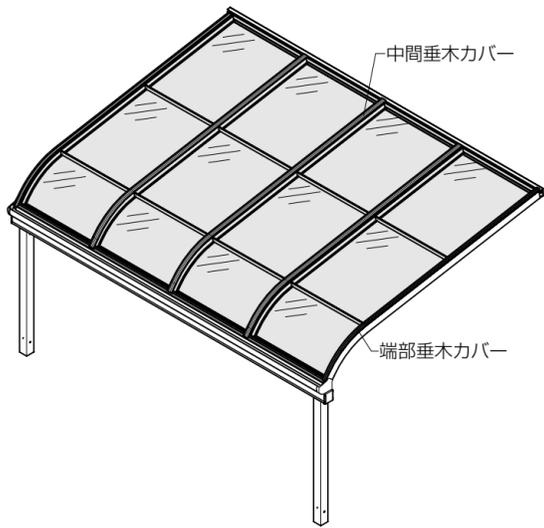
補強桁B・C端部キャップ



補強桁D端部キャップ

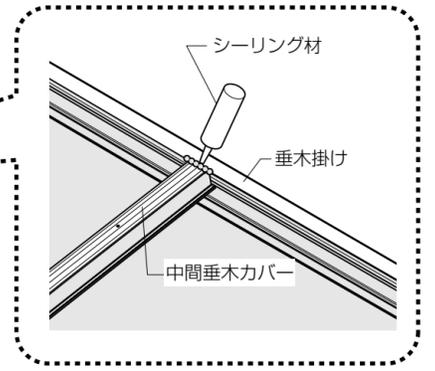
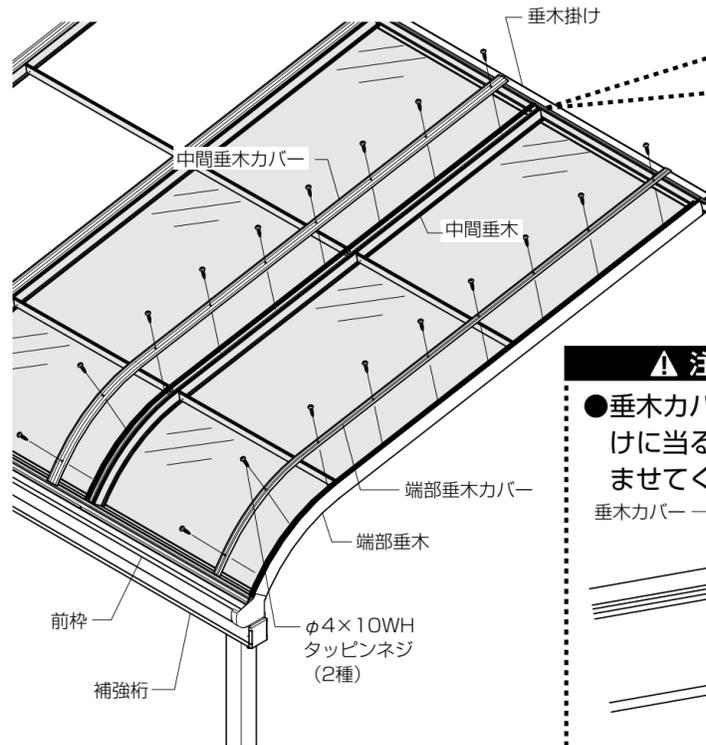


10 垂木カバーの取付け



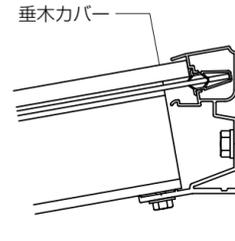
10 垂木カバーの取付け

- ① 垂木カバーを垂木掛け側から押し込み、図のようにねじ止めしてください。
- ② 図のようにシーリングしてください。



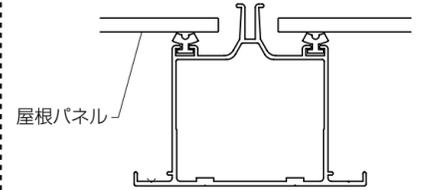
▲ 注意

- 垂木カバーは垂木掛けに当るまで飲み込ませてください。

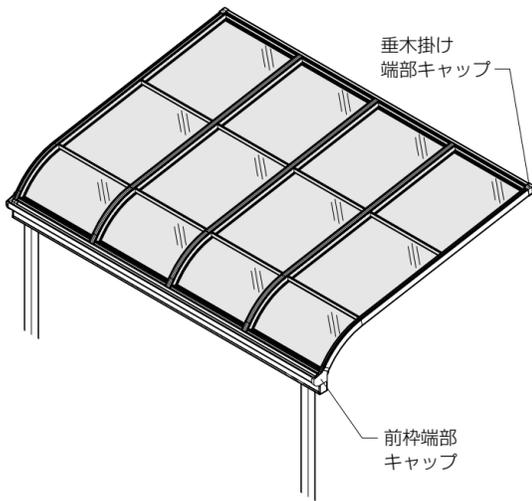


▲ 注意

- 屋根の取付けはパネルのみこみが左右均等になるようにしてください。



11 垂木掛け端部キャップの取付け

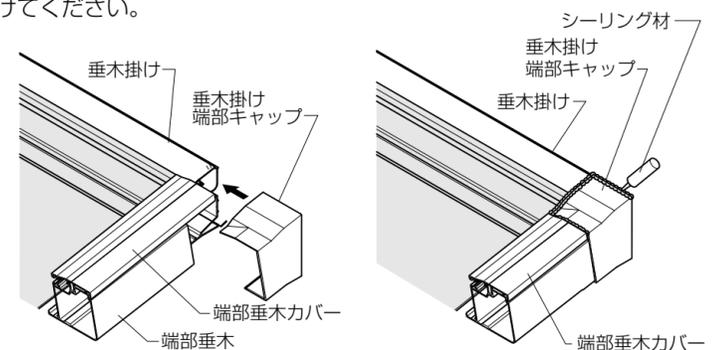
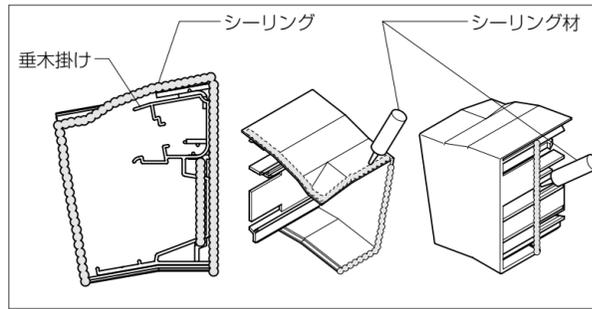


▲ 注意

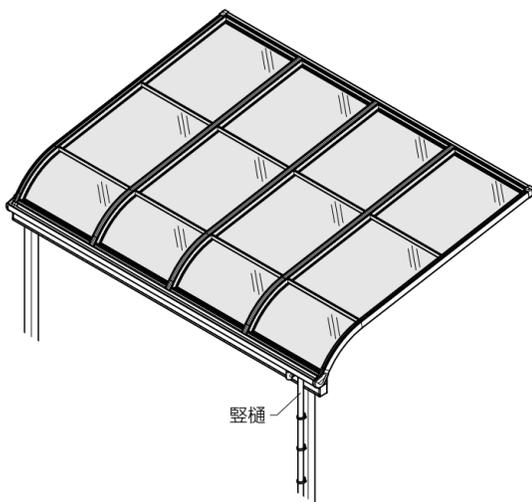
- 指定の個所に必ずシーリングしてください。
- シリコンシーリングを行う場合、アクリル板及びポリカーボネート板のひび割れなどが考えられますので、当社指定のアルコール系シーリング材を使用してください。
 - ・ 信越化学工業 シーラント72
 - ・ 東芝シリコン トスシール380
 - ・ トーレシリコン SE960

11 垂木掛け端部キャップの取付け

- ① 垂木掛け端部キャップにシーリングした後、キャップを取付けてください。

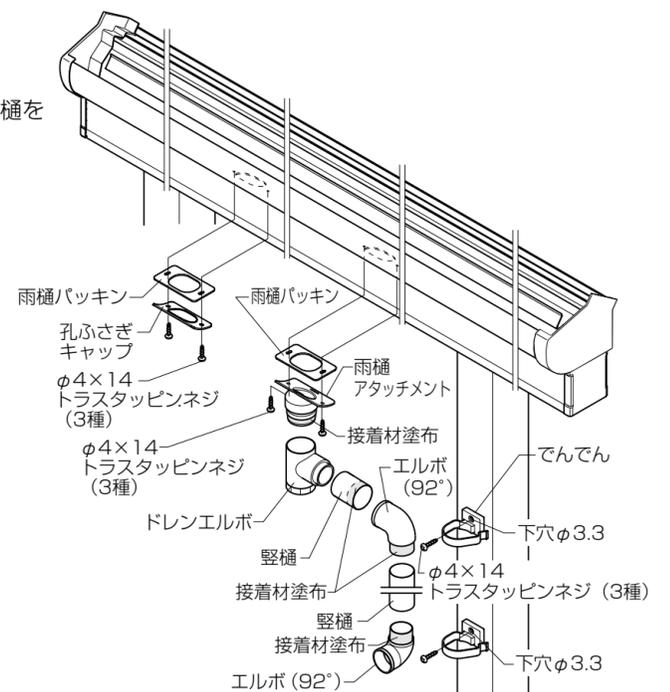
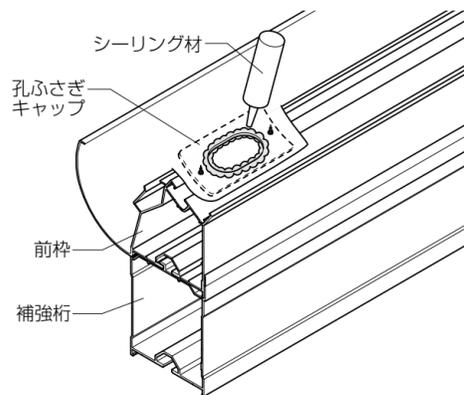


12 雨樋の取付け



12 雨樋の取付け

- ① 図のように雨樋部品を取り付けてください。
 - ② 孔ふさぎキャップ取付け後、図のようにシーリングしてください。
- ※ 前面スクリーン (オプション) を取り付ける場合は、柱の外側に縦樋を取り付けてください。
- ※ 2.5間通しの7尺以上は前枠両端に雨樋を取り付けてください。

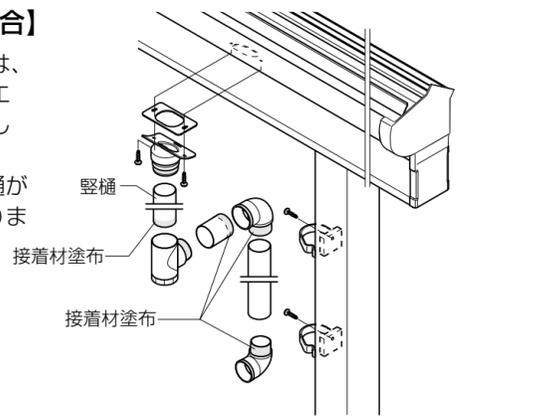


▲ 注意

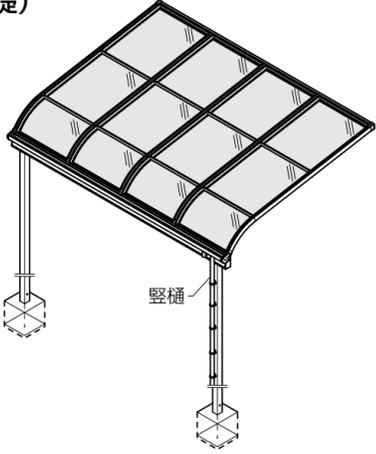
- 指定の個所に必ずシーリングしてください。

【雨樋を側面に取り付ける場合】

- ※ 樋を柱の側面に取り付ける時は、雨樋アタッチメントとドレンエルボの間に縦樋を入れて調整してください。
- ※ 本体サイズにより柱1本に縦樋が2本両側面に取付く場合があります。



13 柱 (基礎)

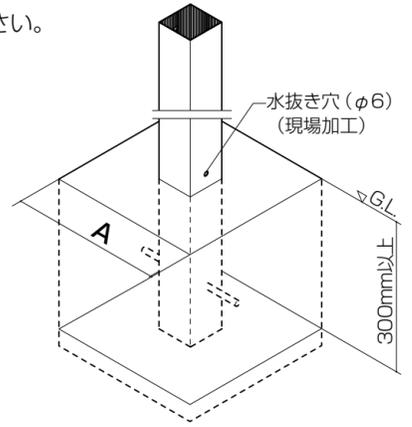


13 柱 (基礎)

- 1 右図の寸法で、柱埋め込み穴をコンクリート (又はモルタル) で埋めてください。
※A寸法は [2/16] の基礎サイズ表をご覧ください。
※基礎に水が溜まりやすい場合は、基礎自体に水こう配をつけてください。
- 2 柱と基礎の付け根に水抜き穴 (φ6) をあけてください。

▲ 注意

- 地下埋設物 (給水管など) に影響を及ぼさないようにしてください。
- コンクリート (又はモルタル) に急結材は絶対に使用しないでください。
- 海砂はアルミを腐食させるおそれがありますので、水洗いしたものを请使用ください。



■ 連棟タイプの場合

※連棟時の間口部材 (前枠・垂木掛け) の切り詰めは不要です。

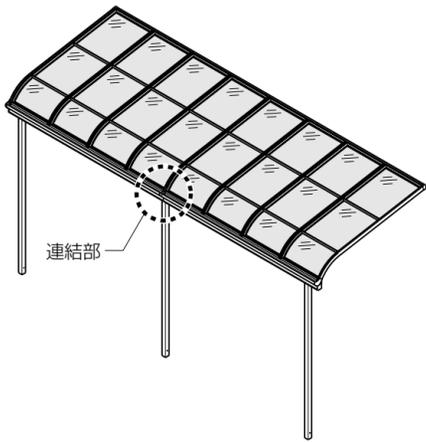
1 前枠・補強桁の加工

2 垂木掛けの取付け

3 前枠・補強桁連棟部の組立て...その①

- ① 前枠スリーブの取付け
- ② 補強桁スリーブの取付け
- ③ 前枠ジョイントカバーの取付け

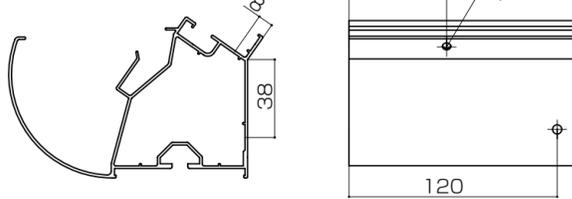
【連結部に柱が取り付け場合】



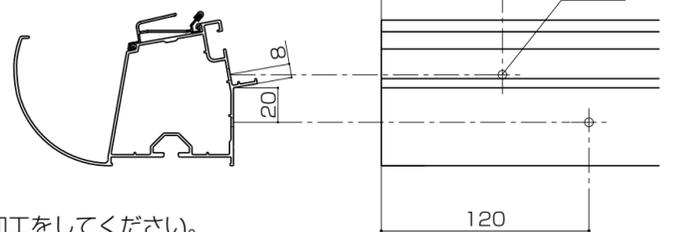
1 前枠・補強桁の加工

① 前枠・補強桁の連結する側の端部に図のようにφ5の穴をあけてください。

● R型の加工

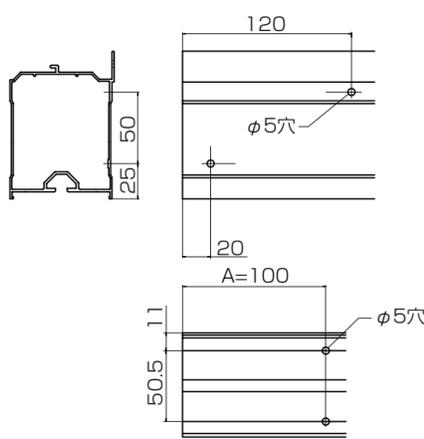


● 前枠の加工

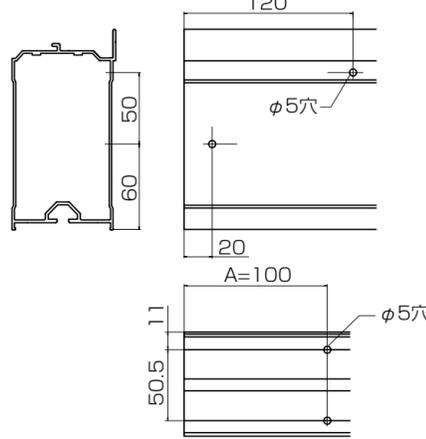


※1500タイプ 1.0~2.0間×7~9尺の前枠についても同様の加工をしてください。

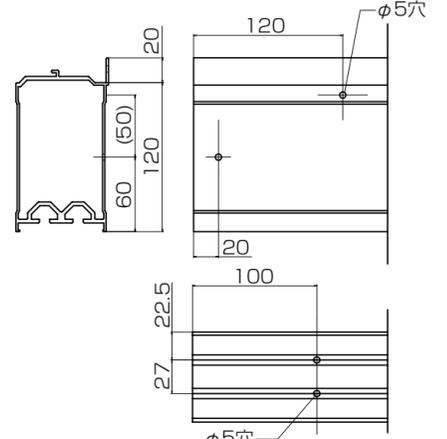
● 補強桁Aの加工



● 補強桁Bの加工



● 補強桁Cの加工

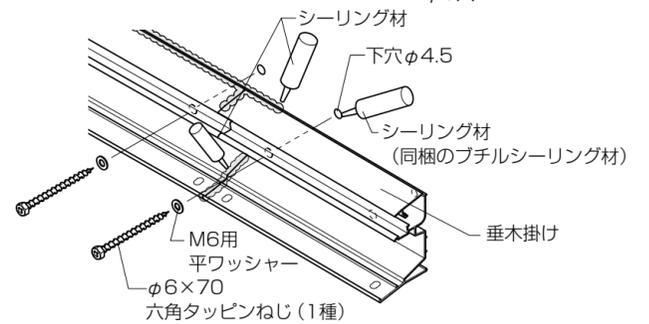


2 垂木掛けの取付け

① 垂木掛けの躯体取付け穴 (φ6.5) を柱や間柱など躯体構造位置に合わせてあけ直した後取り付けてください。

▲ 注意

- 指定の個所に必ずシーリングしてください。

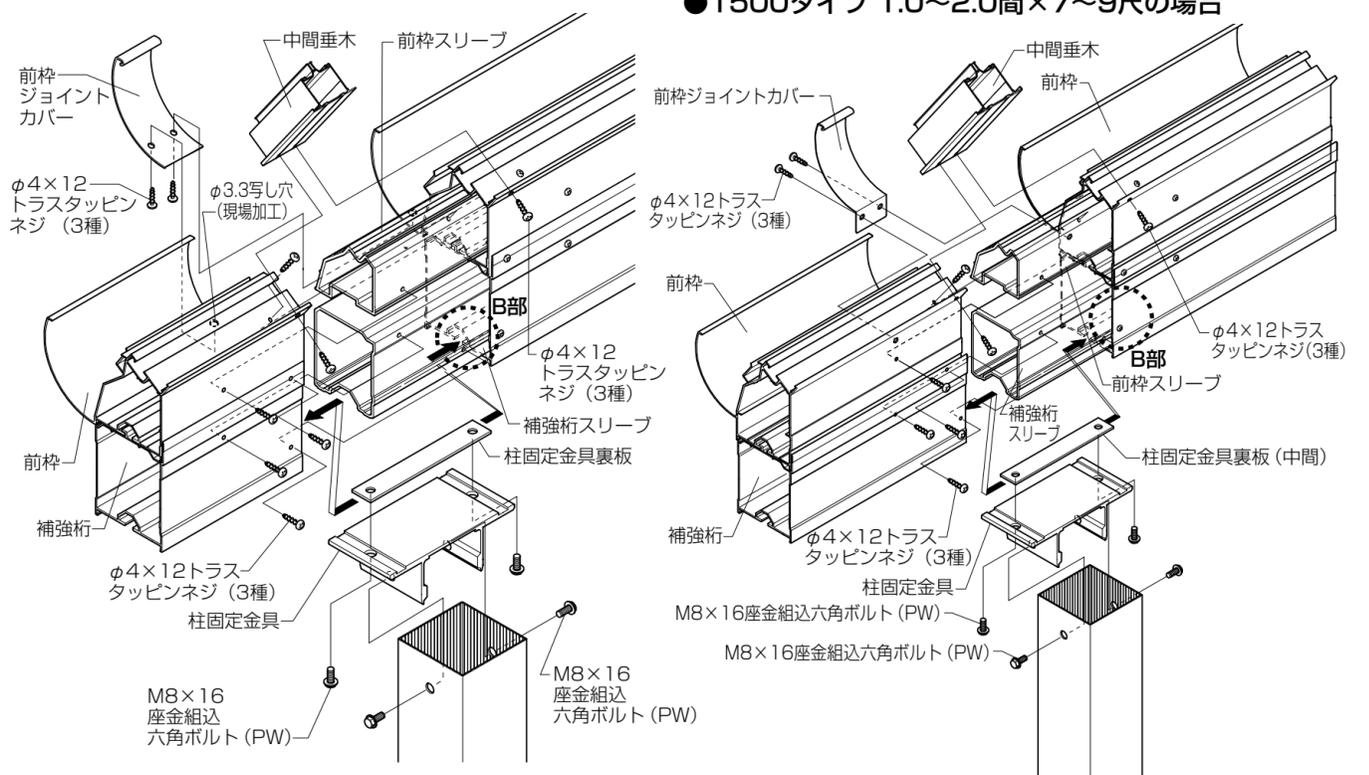
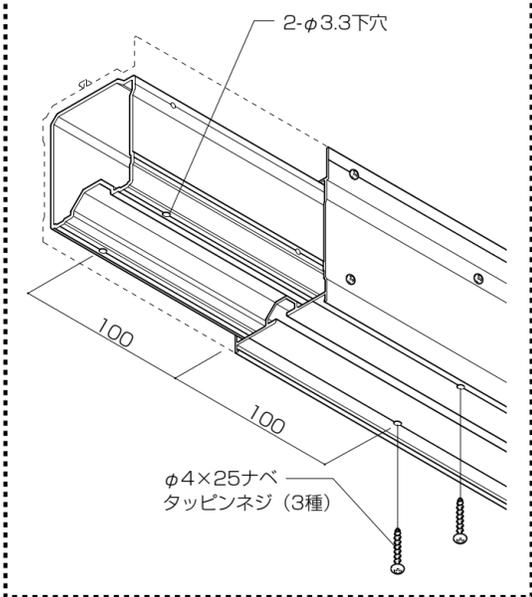


3 前枠・補強桁連棟部の組立て

- ① 前枠を前枠スリーブにねじ止めします。
 - ② 補強桁を補強桁スリーブにねじ止めします。
 - ③ 前枠ジョイントカバーをねじ止めします。
- ※連結部には垂木が取り付けます。
※前面スクリーン (オプション) を取り付ける場合は前枠ジョイントカバーは取り付けしないでください。

● 1500タイプ 1.0~2.0間×7~9尺の場合

■ B部詳細図



■連棟タイプの場合 (つづき)

※連棟時の間口部材 (前枠・垂木掛け) の切り詰めは不要です。

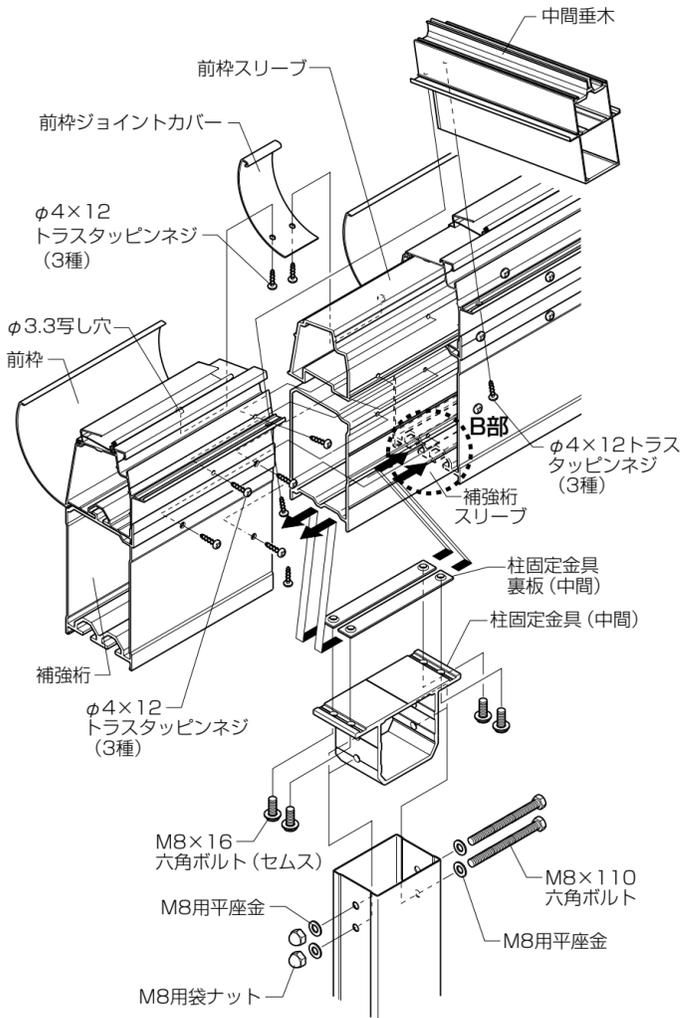
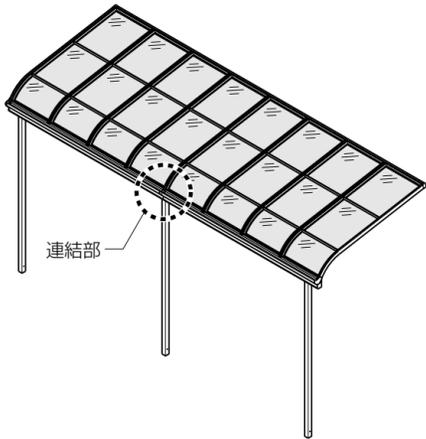
1 前枠・補強桁の加工

2 垂木掛けの取付け

3 前枠・補強桁連棟部の組立て…その②

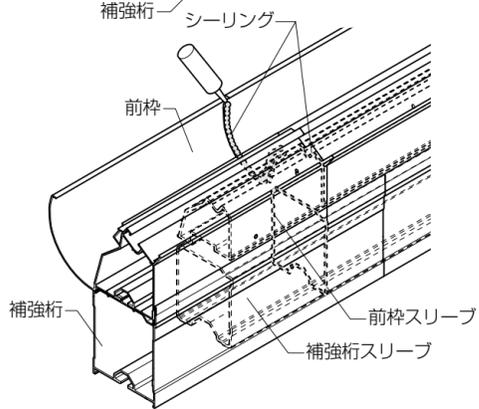
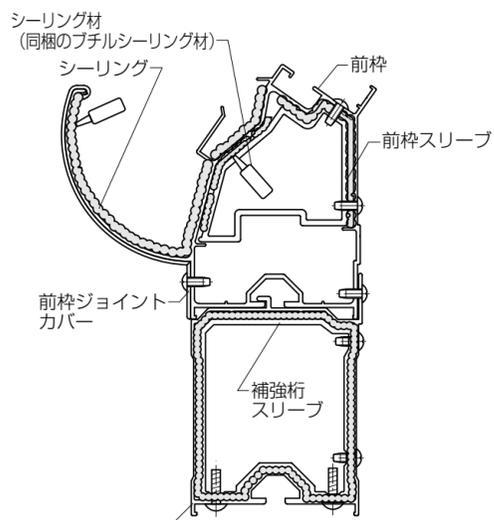
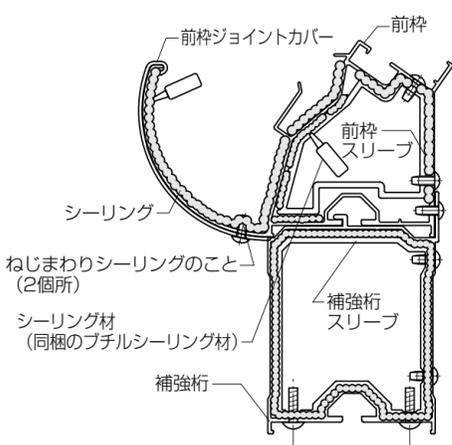
- ①前枠スリーブの取付け
- ②補強桁スリーブの取付け
- ③前枠ジョイントカバーの取付け

【連結部に柱が取り付けの場合】

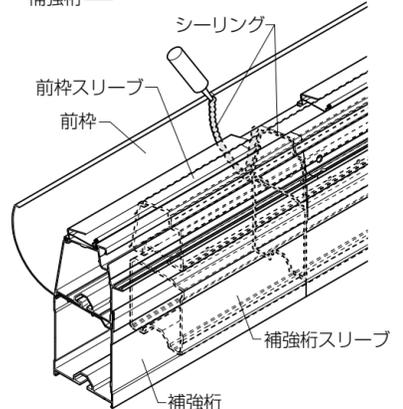
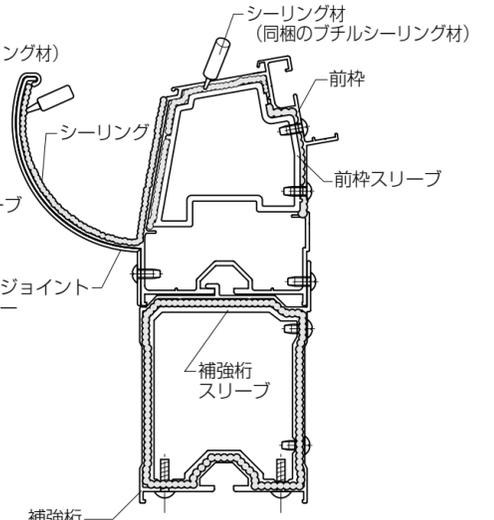
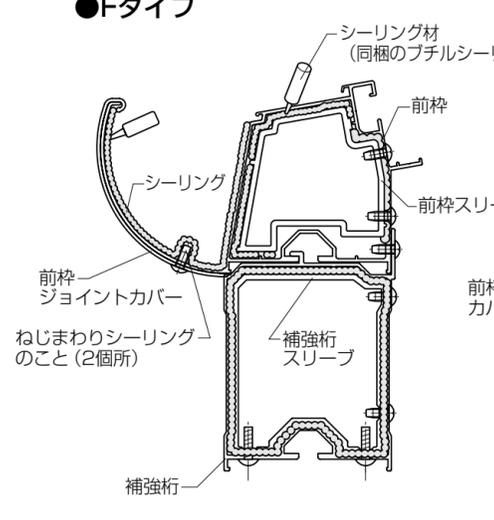


■ジョイントシーリング箇所

●Rタイプ



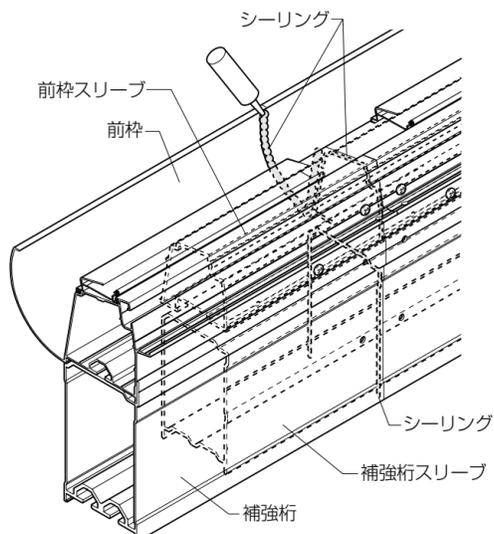
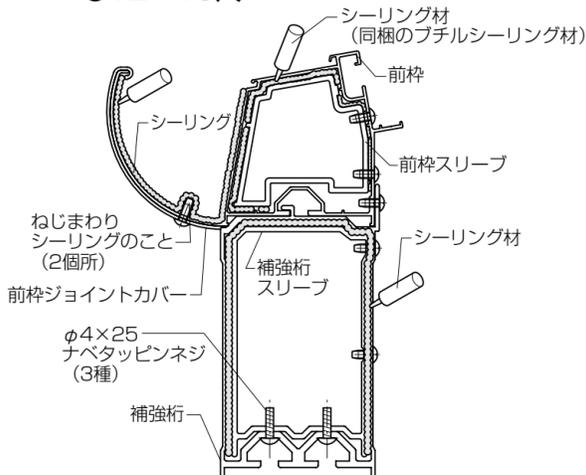
●Fタイプ



▲ 注意
●指定の個所に必ずシーリングしてください。

▲ 注意
●指定の個所に必ずシーリングしてください。

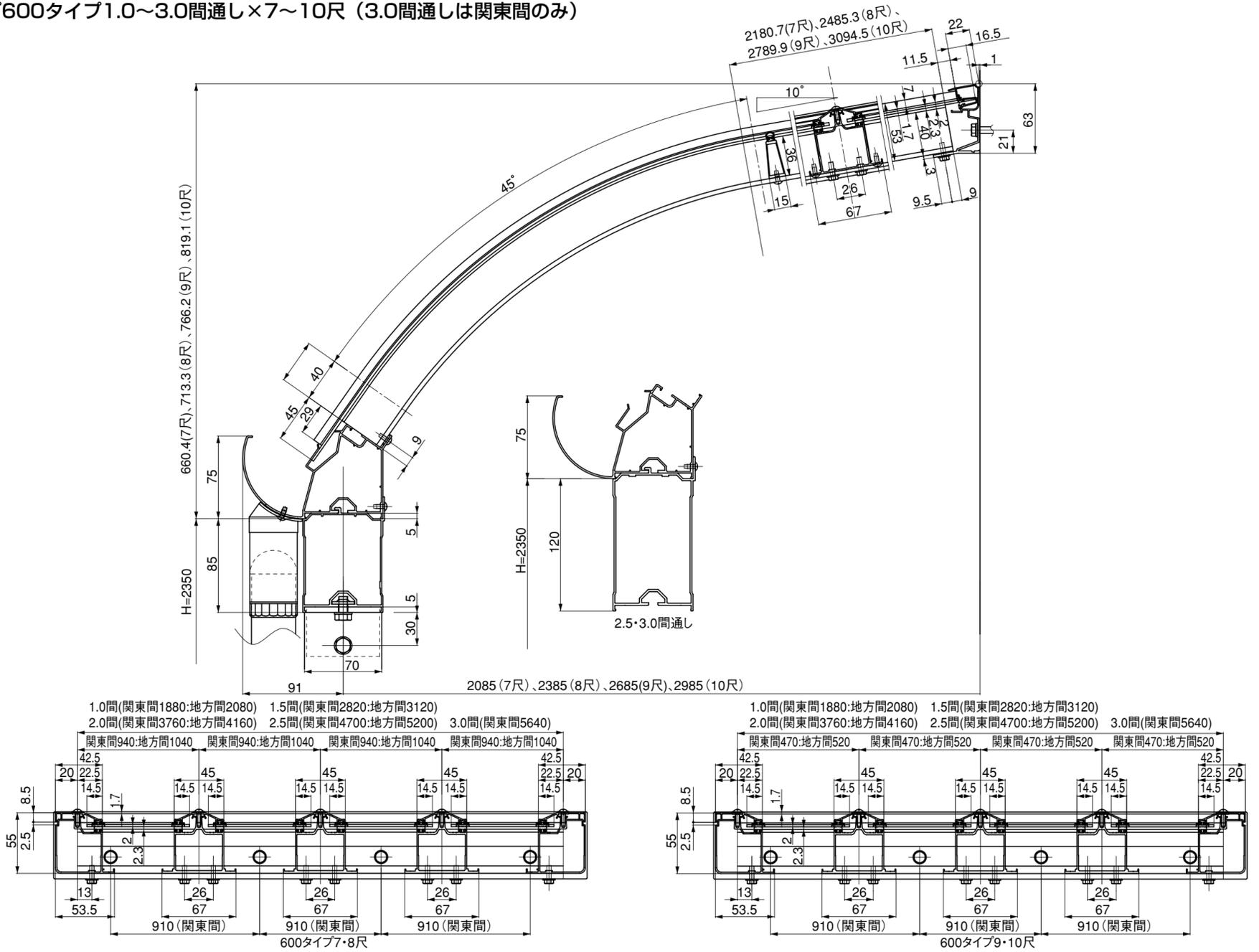
●12・15尺



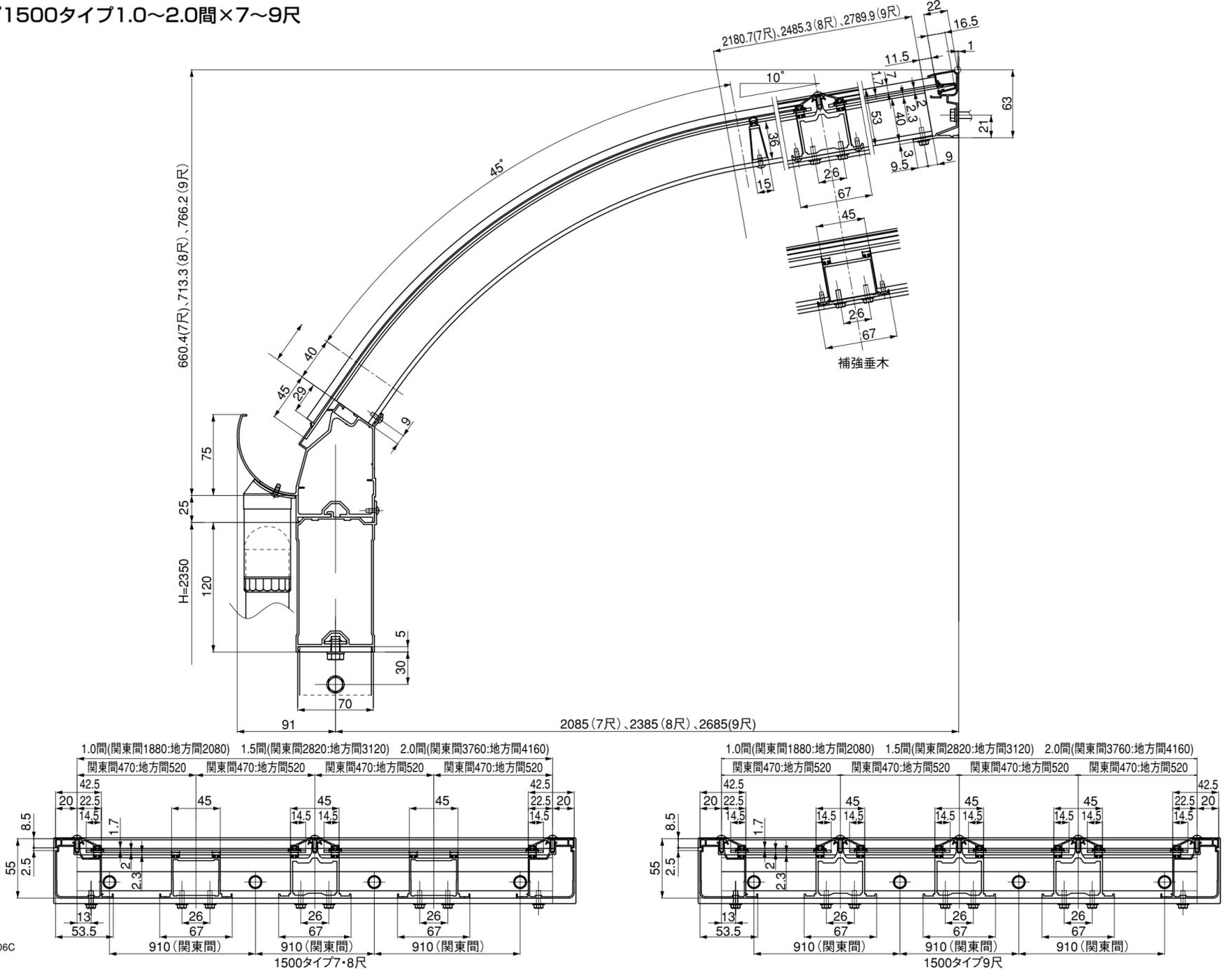
▲ 注意
●指定の個所に必ずシーリングしてください。

■納まり図

●Rタイプ600タイプ1.0~3.0間通し×7~10尺 (3.0間通しは関東間のみ)

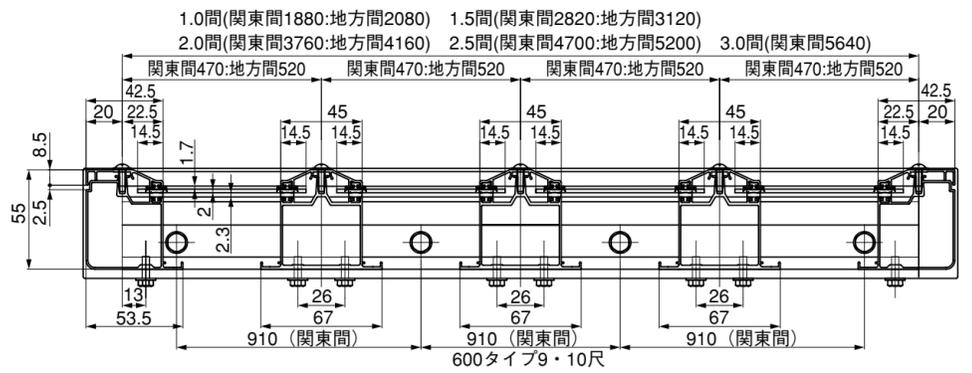
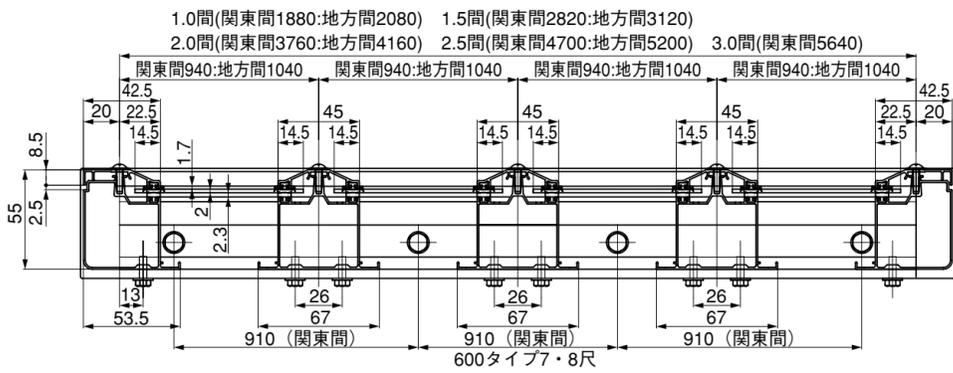
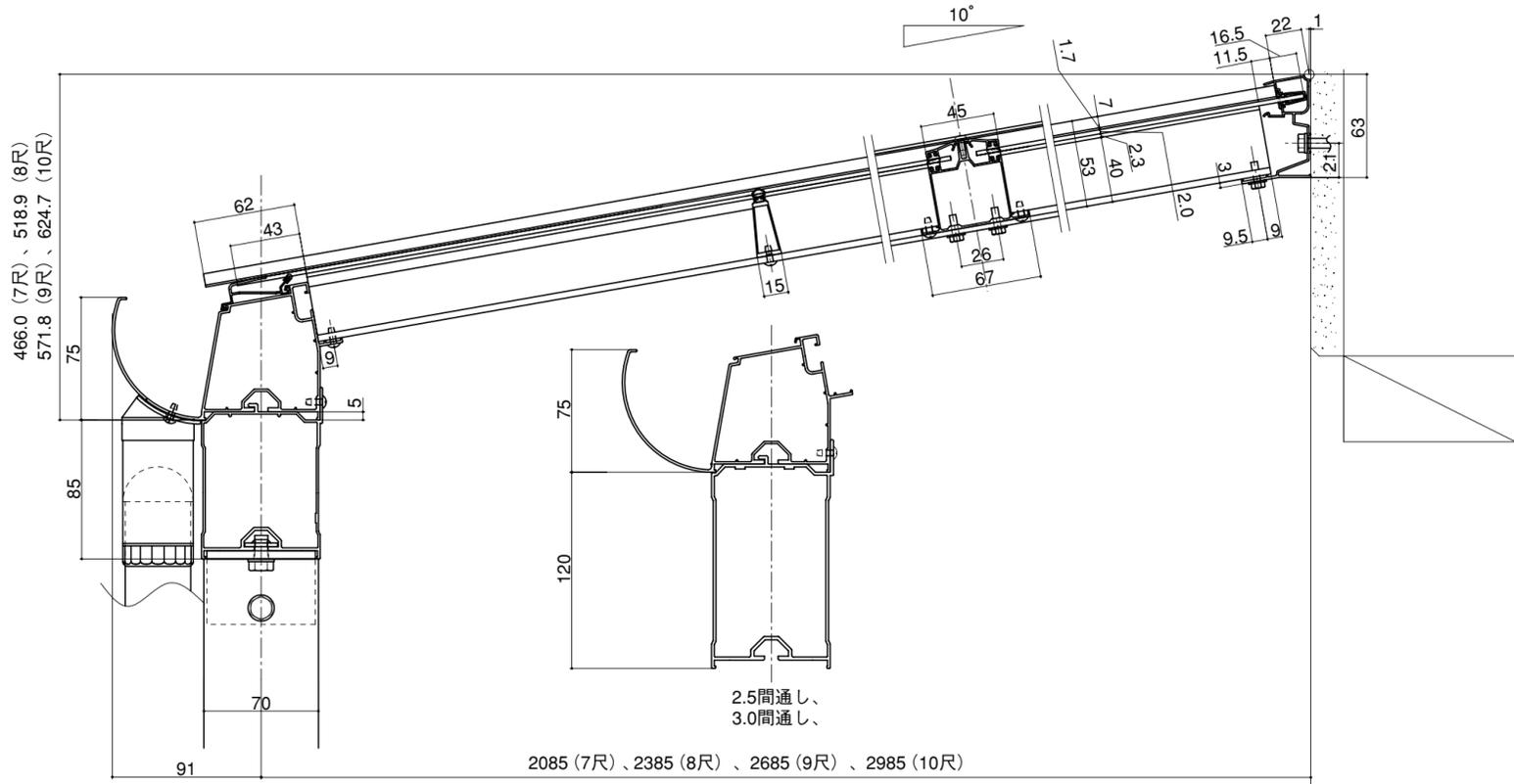


●Rタイプ1500タイプ1.0~2.0間×7~9尺

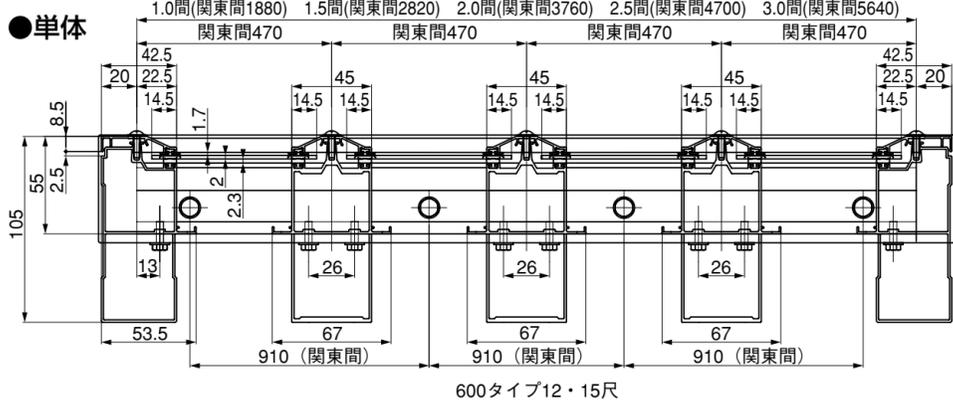
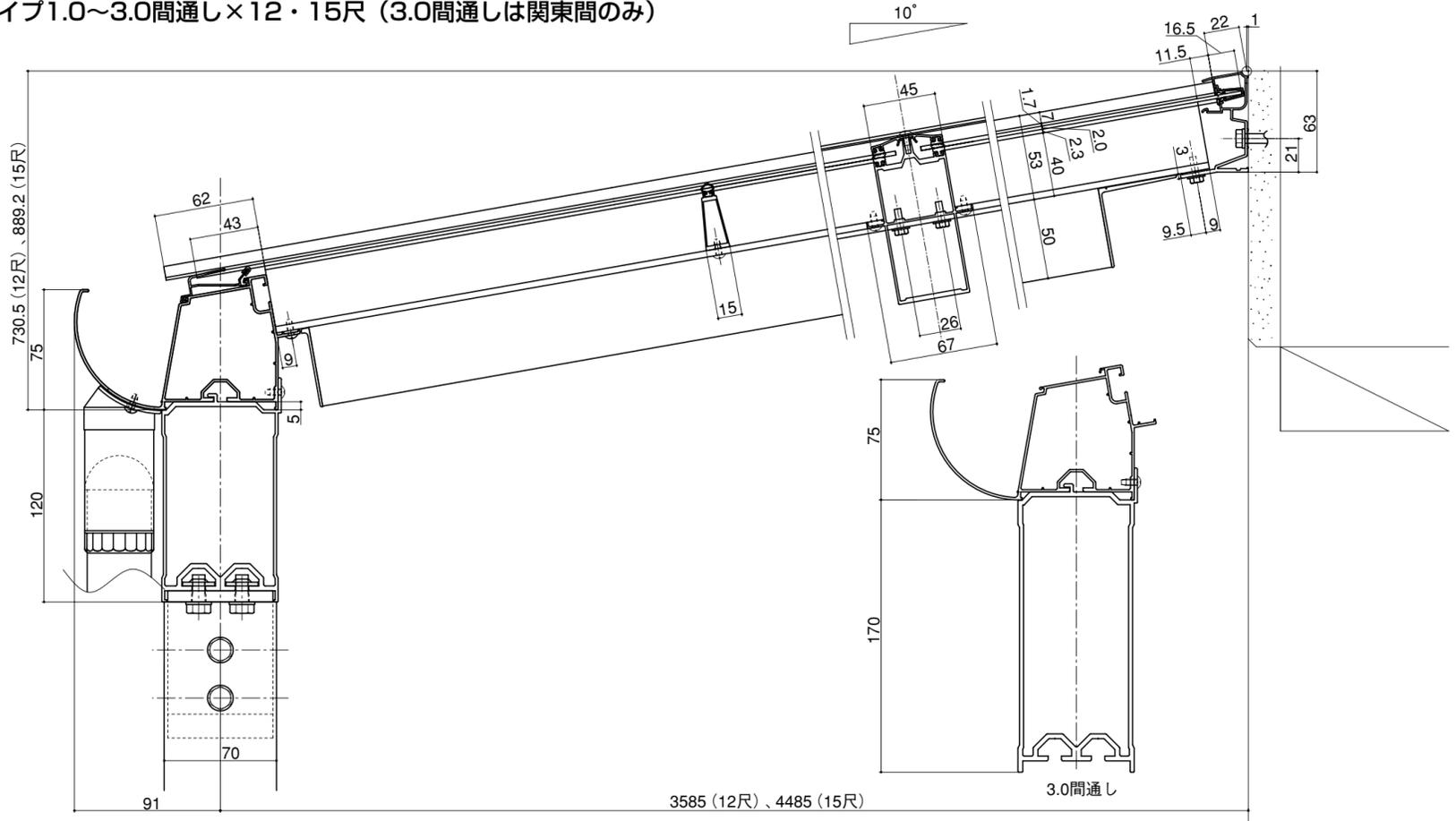


■納まり図

●Fタイプ600タイプ 1.0~3.0間通し×7~10尺 (3.0間通しは関東間のみ)

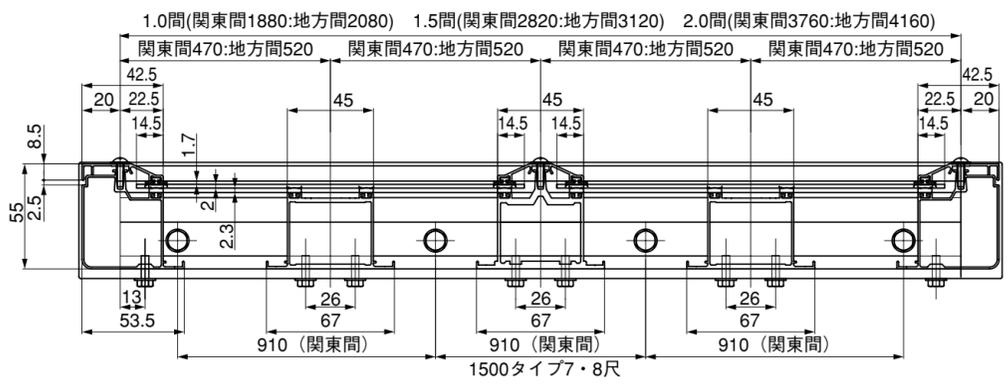
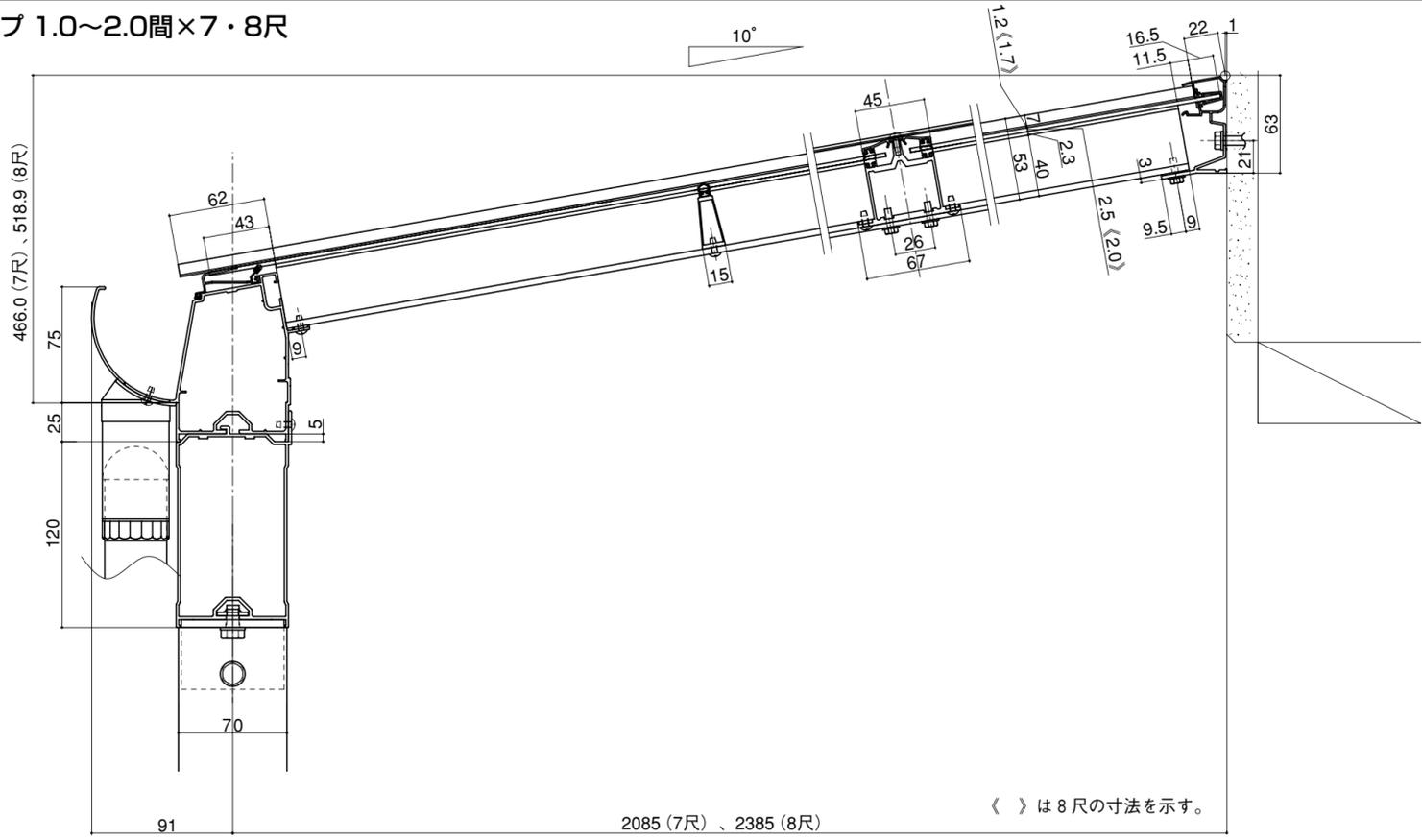


●Fタイプ600タイプ1.0~3.0間通し×12・15尺 (3.0間通しは関東間のみ)

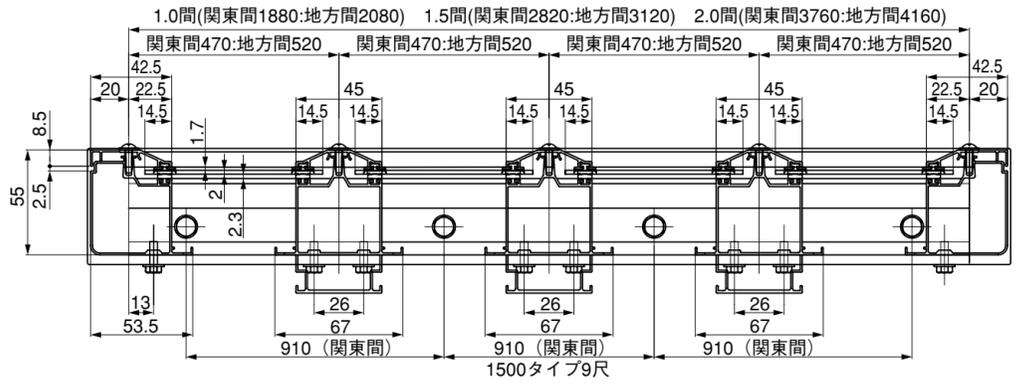
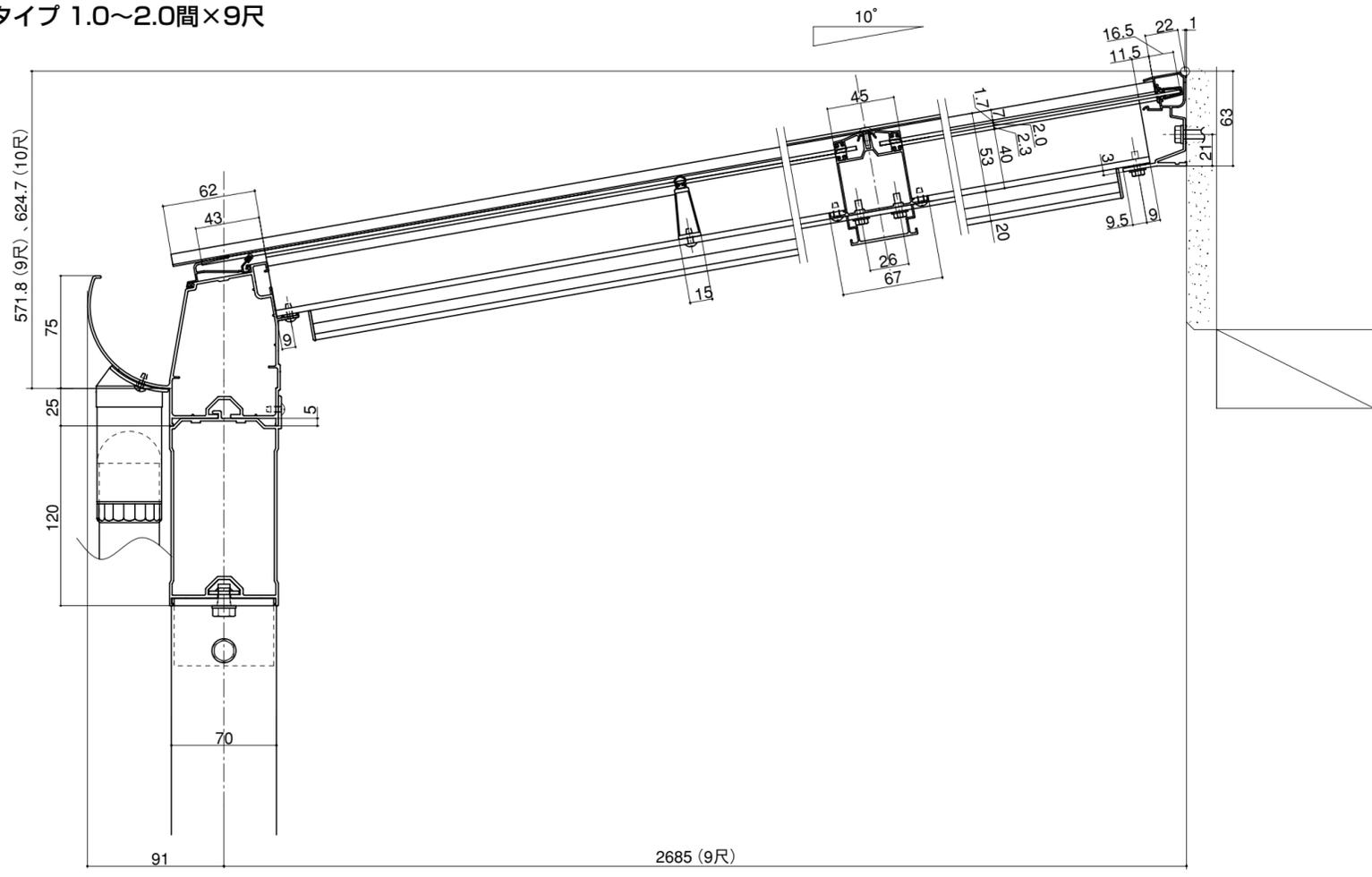


■納まり図

●Fタイプ1500タイプ 1.0~2.0間×7・8尺



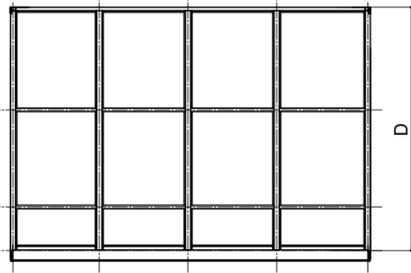
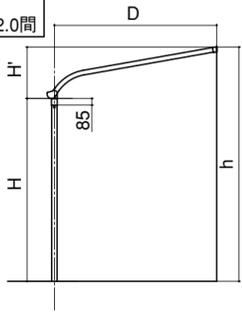
●Fタイプ1500タイプ 1.0~2.0間×9尺



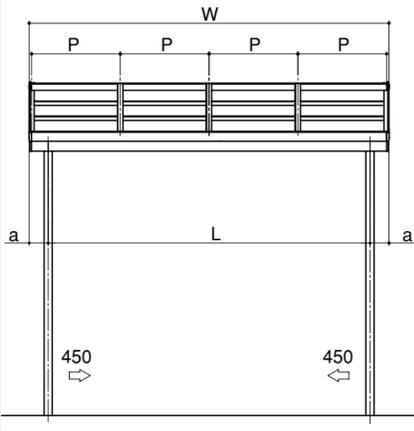
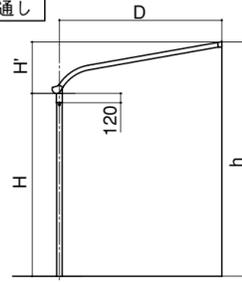
●Rタイプ (7尺~10尺)

●単体

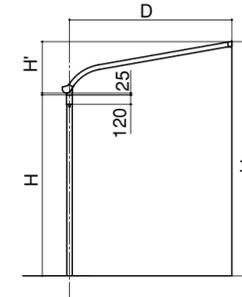
600タイプ
1.0・1.5・2.0間



600タイプ
2.5・3.0間通し



1500タイプ
1.0・1.5・2.0間・2.5間通し



出幅

呼称	D
7尺	2085
8尺	2385
9尺	2685
10尺	2985

高さ

呼称	H	H'	h
7尺	2350	660.4	3010.4
8尺		713.3	3063.3
9尺		766.2	3116.2
10尺		819.1	3169.1

※h' (1500タイプの場合)は、h+25
※本図の柱の長さは標準柱を示します。
※長尺柱の長さは標準柱の+600mmになります。

●Rタイプ (7~10尺)
●単体
間口 (関東間)

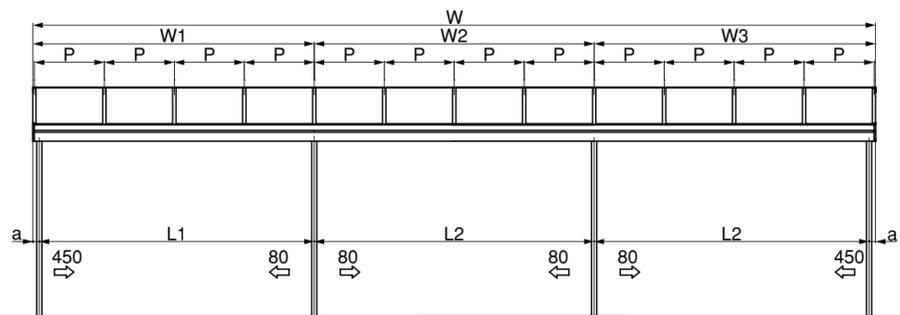
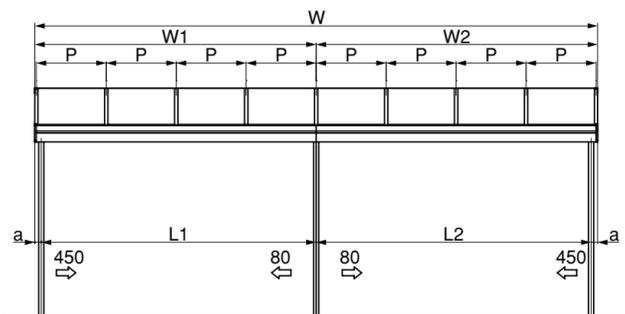
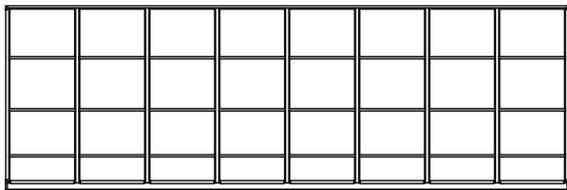
呼称	P (7尺・8尺)	P (9尺・10尺)	W	L	a
1.0間	940	470	1920	1746	87
1.5間			2860	2686	
2.0間			3800	3626	
2.5間通し (600タイプのみ)			4740	4566	
3.0間通し (600タイプのみ)			5680	5506	

間口 (関西間)

呼称	P (7尺・8尺)	P (9尺・10尺)	W	L	a
1.0間	1040	520	2120	1946	87
1.5間			3160	2986	
2.0間			4200	4026	
2.5間通し (600タイプのみ)			5240	5066	

※Wは端部垂木外々寸法です。
※aは端部垂木外側から柱中心までの距離です。
※端部垂木は前枠から20mmはみ出ています。
※1500タイプに10尺はありません。
※1500タイプには2.5間の長さセットはありません。

●連棟



●Rタイプ (7~10尺)
●連棟
間口 (関東間)

呼称	P 7・8尺	P 9・10尺	W	W1	W2	W3	L1	L2	L3	a
2.5間 (1+1.5)	940	470	4740	1900	2840	—	1813	2753	—	87
3.0間 (1.5+1.5)			5680	2840	2840	—	2753	2753	—	
3.5間 (1.5+2.0)			6620	2840	3780	—	2753	3693	—	
4.0間 (2.0+2.0)			7560	3780	3780	—	3693	3693	—	
4.5間 (2.0+2.5)			8500	3780	4720	—	3693	4633	—	
5.0間 (2.5+2.5)			9440	4720	4720	—	4633	4633	—	
5.5間 (2.0+1.5+2.0)			10380	3780	2820	3780	3693	2820	3693	
6.0間 (2.0+2.0+2.0)			11320	3780	3760	3780	3693	3760	3693	
6.5間 (2.0+2.5+2.0)			12260	3780	4700	3780	3693	4700	3693	
7.0間 (2.5+2.0+2.5)	13200	4720	3760	4720	4633	3760	4633			

※1500タイプには2.5間の連棟はありません。1.0~2.0間の組み合わせにしてください。

間口 (関西間)

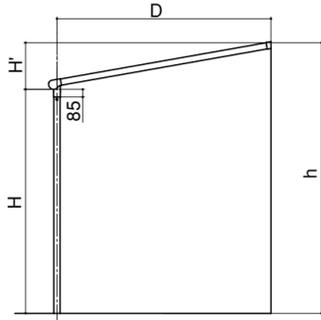
呼称	P 7・8尺	P 9・10尺	W	W1	W2	W3	L1	L2	L3	a
2.5間 (1+1.5)	1040	520	5240	2100	3140	—	2013	3053	—	87
3.0間 (1.5+1.5)			6280	3140	3140	—	3053	3053	—	
3.5間 (1.5+2.0)			7320	3140	4180	—	3053	4093	—	
4.0間 (2.0+2.0)			8360	4180	4180	—	4093	4093	—	
4.5間 (2.0+2.5)			9400	4180	5220	—	4093	5133	—	
5.0間 (2.5+2.5)			10440	5220	5220	—	5133	5133	—	
5.5間 (2.0+1.5+2.0)			11480	4180	3120	4180	4093	3120	4093	
6.0間 (2.0+2.0+2.0)			12520	4180	4160	4180	4093	4160	4093	
6.5間 (2.0+2.5+2.0)			13560	4180	5200	4180	4093	5200	4093	
7.0間 (2.5+2.0+2.5)	14600	5220	4160	5220	5133	4160	5133			

※1500タイプには2.5間の連棟はありません。1.0~2.0間の組み合わせにしてください。

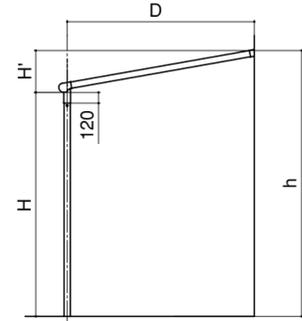
●Fタイプ (7尺~10尺)

●単体

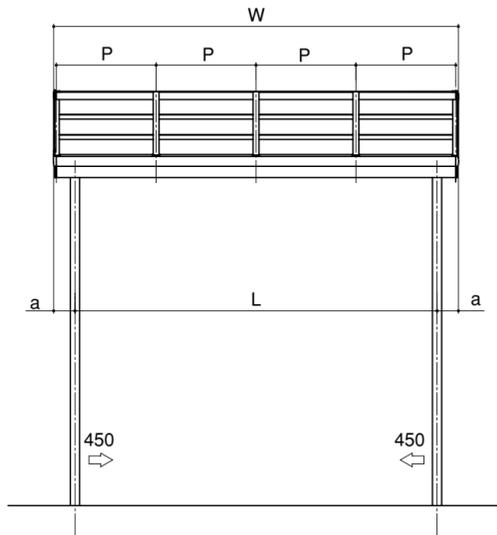
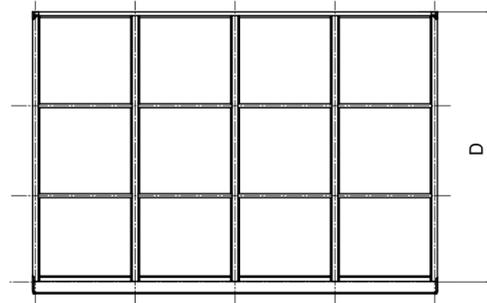
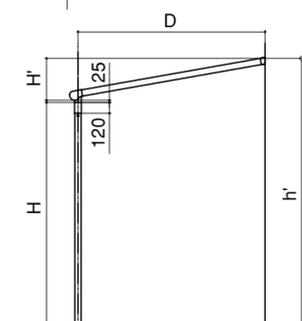
600タイプ
1.0・1.5・2.0間



600タイプ
2.5・3.0間通し



1500タイプ
1.0・1.5・2.0間



出幅

呼称	D
7尺	2085
8尺	2385
9尺	2685
10尺	2985

高さ

呼称	H	H'	h
7尺	2500	466.0	2966.0
8尺		518.9	3018.9
9尺		571.8	3071.8
10尺		624.7	3124.7

※h' (1500タイプ) の場合は、
h+25
※本図の柱の長さは標準柱を示し
ます。
※長尺柱の長さは標準柱の
+600mmになります。

●Fタイプ (7~10尺)

●単体

間口 (関東間)

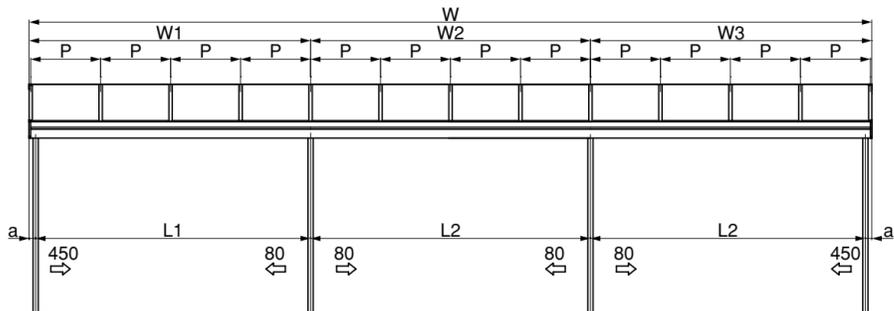
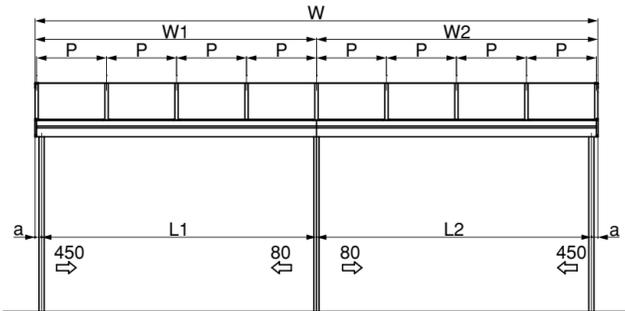
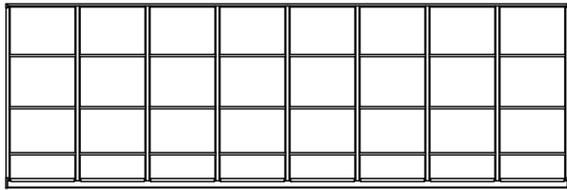
呼称	P (7尺・8尺)	P (9尺・10尺)	W	L	a
1.0間	940	470	1920	1746	87
1.5間			2860	2686	
2.0間			3800	3626	
2.5間通し (600タイプのみ)			4740	4566	
3.0間通し (600タイプのみ)			5680	5506	

間口 (関西間)

呼称	P (7尺・8尺)	P (9尺・10尺)	W	L	a
1.0間	1040	520	2120	1946	87
1.5間			3160	2986	
2.0間			4200	4026	
2.5間通し (600タイプのみ)			5240	5066	

※Wは端部垂木外々寸法です。
※aは端部垂木外側から柱中心までの距離です。
※端部垂木は前枠から20mmはみ出しています。
※1500タイプに10尺はありません。
※1500タイプには2.5間の長さセットはありません。

●連棟



●Fタイプ (7~10尺)

●連棟

間口 (関東間)

呼称	P 7・8尺	P 9・10尺	W	W1	W2	W3	L1	L2	L3	a
2.5間 (1+1.5)	940	470	4740	1900	2840	—	1813	2753	—	87
3.0間 (1.5+1.5)			5680	2840	2840	—	2753	2753	—	
3.5間 (1.5+2.0)			6620	2840	3780	—	2753	3693	—	
4.0間 (2.0+2.0)			7560	3780	3780	—	3693	3693	—	
4.5間 (2.0+2.5)			8500	3780	4720	—	3693	4633	—	
5.0間 (2.5+2.5)			9440	4720	4720	—	4633	4633	—	
5.5間 (2.0+1.5+2.0)			10380	3780	2820	3780	3693	2820	3693	
6.0間 (2.0+2.0+2.0)			11320	3780	3760	3780	3693	3760	3693	
6.5間 (2.0+2.5+2.0)			12260	3780	4700	3780	3693	4700	3693	
7.0間 (2.5+2.0+2.5)			13200	4720	3760	4720	4633	3760	4633	

※1500タイプには2.5間の連棟はありません。1.0~2.0間の組み合わせにしてください。

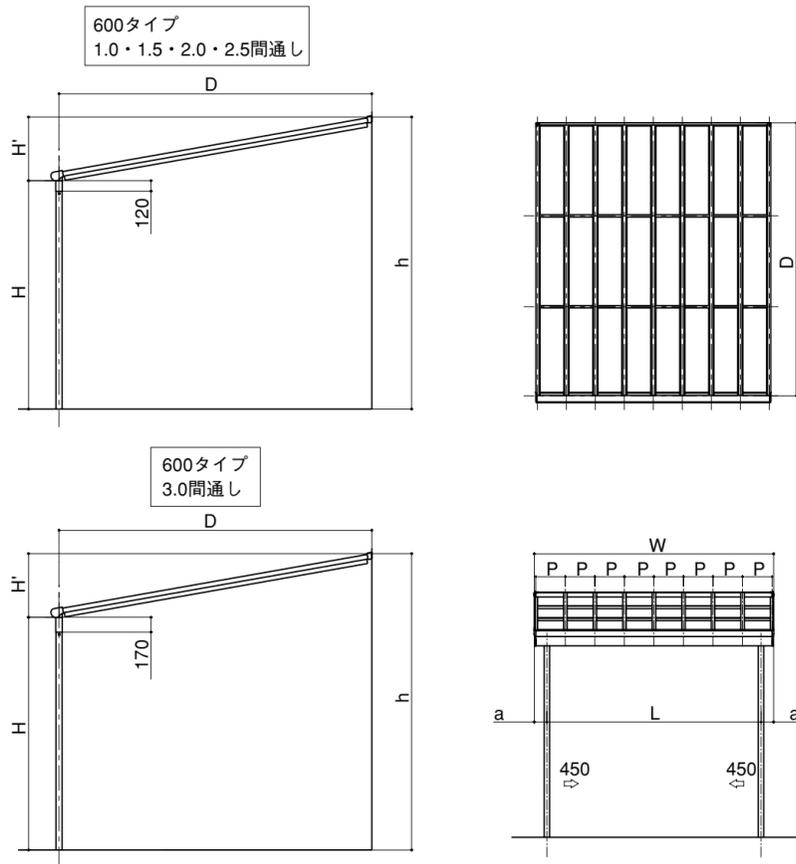
間口 (関西間)

呼称	P 7・8尺	P 9・10尺	W	W1	W2	W3	L1	L2	L3	a
2.5間 (1+1.5)	1040	520	5240	2100	3140	—	2013	3053	—	87
3.0間 (1.5+1.5)			6280	3140	3140	—	3053	3053	—	
3.5間 (1.5+2.0)			7320	3140	4180	—	3053	4093	—	
4.0間 (2.0+2.0)			8360	4180	4180	—	4093	4093	—	
4.5間 (2.0+2.5)			9400	4180	5220	—	4093	5133	—	
5.0間 (2.5+2.5)			10440	5220	5220	—	5133	5133	—	
5.5間 (2.0+1.5+2.0)			11480	4180	3120	4180	4093	3120	4093	
6.0間 (2.0+2.0+2.0)			12520	4180	4160	4180	4093	4160	4093	
6.5間 (2.0+2.5+2.0)			13560	4180	5200	4180	4093	5200	4093	
7.0間 (2.5+2.0+2.5)			14600	5220	4160	5220	5133	4160	5133	

※1500タイプには2.5間の連棟はありません。1.0~2.0間の組み合わせにしてください。

●Fタイプ (12尺~15尺)

●単体



出幅

呼称	D
12尺	3585
15尺	4485

高さ

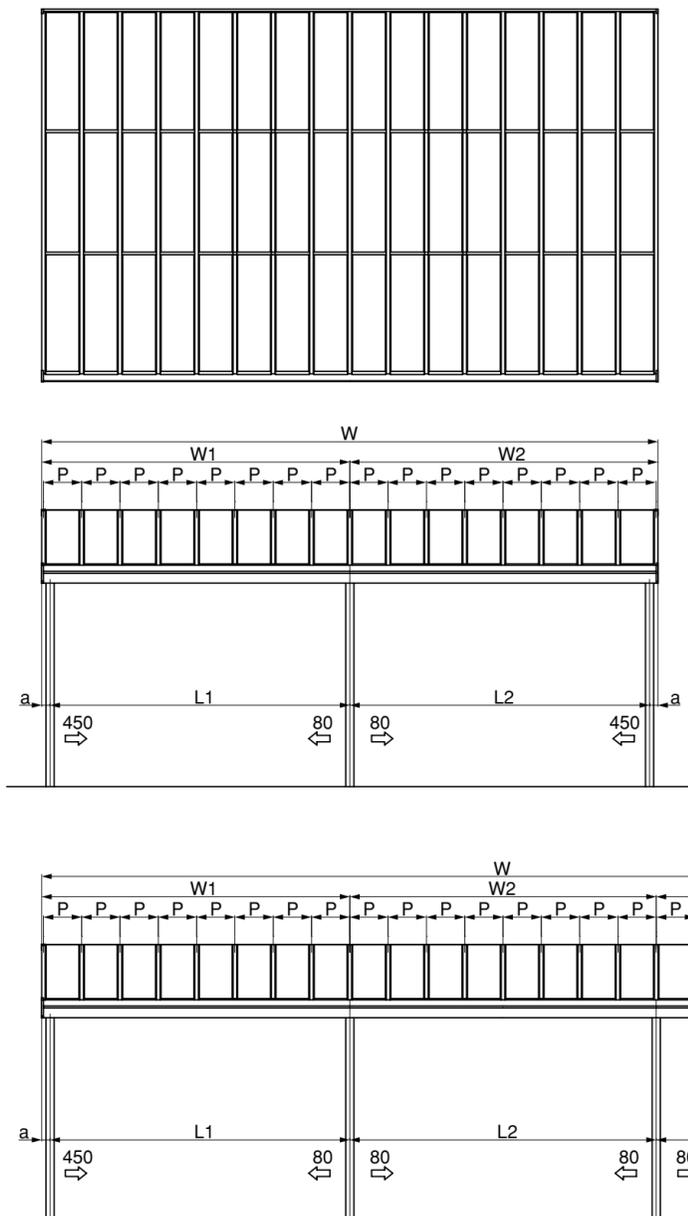
呼称	H	H'	h
12尺	2500	730.5	3230.5
15尺		889.2	3389.2

●Fタイプ (12・15尺)

●単体
間口 (関東間~600タイプのみ)

呼称	P	W	L	a
1.0間	470	1920	1716	102
1.5間		2860	2656	
2.0間		3800	3596	
2.5間通し		4740	4536	
3.0間通し		5680	5476	

●連棟



●連棟

呼称	P	W	W1	W2	W3	L1	L2	L3	a
3.5間 (1.5+2.0)	470	6620	2840	3780	—	2738	3678	—	102
4.0間 (2.0+2.0)		7560	3780	3780	—	3678	3678	—	
4.5間 (2.0+2.5)		8500	3780	4720	—	3678	4618	—	
5.0間 (2.5+2.5)		9440	4720	4720	—	4168	4618	—	
5.5間 (2.0+1.5+2.0)		10380	3780	2820	3780	3678	2820	3678	
6.0間 (2.0+2.0+2.0)		11320	3780	3760	3780	3678	3760	3678	
6.5間 (2.0+2.5+2.0)		12260	3780	4700	3780	3678	4700	3678	
7.0間 (2.5+2.0+2.5)		13200	4720	3760	4720	4618	3760	4618	

■ 梱包明細書

① 柱セット(テラス用)

名 称	員 数			
	主柱B		中間柱	
	標準	長尺	標準	長尺
テラス柱	2	2	1	1
柱固定金具(中間)	2	2	1	1
柱固定金具裏板(中間)	2	2	1	1
アンカー棒	2	2	1	1
M8×16座金組込六角ボルト(PW)	8	8	4	4
堅樋(φ40)	1	1	1	1
取扱説明書	1	1	1	1

② 柱セット(大型用)

名 称	員 数	
	1本入	2本入
テラス柱(Fタイプ12・15尺用)	1	2
柱固定金具(大型用)	1	2
柱固定金具裏板(大型用)	2	4
アンカー棒	1	2
M8×110六角ボルト	2	4
M8×18六角ボルト(セムス)	4	8
M8用平ワッシャー	4	8
M8用袋ナット	2	4
堅樋(φ40)	1	1
取扱説明書	1	1

③ 長さセット(7・8尺)

名 称	員 数					
	1.0間	1.5間	2.0間	2.5間通し	3.0間通し	
前枠	1	1	1	1	1	
垂木掛け	1	1	1	1	1	
パネル押え ※Rタイプには入っていません	2	3	4	5	6	
グレチャン	2	3	4	5	6	
堅樋	1	1	1	2	2	
フチルシーリング材	1	1	1	1	1	
φ6×70六角タッピンネジ1種	5	5	5	7	7	
M6平座金	5	5	5	7	7	
雨樋部品	雨樋アタッチメント	1	1	1	2	2
	穴ふさぎキャップ	1	1	1	—	—
	雨樋バックシン	2	2	2	2	2
	エルボ(92°)	2	2	2	4	4
	ドレンエルボ	1	1	1	2	2
	でんでん	3	3	3	6	6
	接着剤	1	1	1	1	1
φ4×14トラスタッピンネジ3種	7	7	7	10	10	

⑨ 中間垂木セット

名 称	員 数																				
	7尺			8尺			9尺			9尺1500タイプ用			10尺			12尺			15尺		
	1本入	2本入	3本入	1本入	2本入	3本入	1本入	2本入	3本入	1本入	2本入	3本入	1本入	2本入	3本入	1本入	2本入	3本入	1本入	2本入	3本入
中間垂木	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3
中間垂木カバー	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3
中間垂木L端部キャップ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	4	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—
中間垂木M端部キャップ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	4	6	2	4	6	—
M4×12(+)六角ボルト	2	4	6	2	4	6	2	4	6	2	4	6	2	4	6	2	4	6	2	4	6
M4平座金	2	4	6	2	4	6	2	4	6	2	4	6	2	4	6	2	4	6	2	4	6
φ4×12トラスタッピンネジ3種	8	16	24	8	16	24	6	12	18	6	12	18	6	12	18	6	12	18	6	12	18
φ4×12ワッシャーヘッドタッピンネジ2種 D=10	10	20	30	11	22	33	12	24	36	12	24	36	14	28	42	16	32	48	20	40	60

⑩ 補強垂木セット

名 称	員 数					
	7尺			8尺		
	2本入	3本入	4本入	2本入	3本入	4本入
補強垂木	2	3	4	2	3	4
M4×12(+)六角ボルト	4	6	8	4	6	8
M4平座金	4	6	8	4	6	8
φ4×12トラスタッピンネジ3種	10	15	20	10	15	20

⑪ 前枠端部部品セット

名 称	員 数	
	600タイプ	1500タイプ
前枠端部キャップ(左)	1	1
前枠端部キャップ(右)	1	1
垂木掛け端部キャップ(左)	1	1
垂木掛け端部キャップ(右)	1	1
取付説明書	1	1
φ4×12トラスタッピンネジ1種	2	—
φ4×18トラスタッピンネジ1種	—	2

⑮ アクリル・ポリカーボネート・熱線遮断ポリカーボネート屋根パネル(12尺・15尺にはRタイプ、関西間、アクリル・熱線遮断ポリカーボネートはありません)

名 称	員 数													
	7尺			8尺			9尺			10尺			12尺	15尺
	2枚入	3枚入	4枚入	2枚入	3枚入	4枚入	2枚入	3枚入	4枚入	2枚入	3枚入	4枚入	2枚入	2枚入
Fタイプ	パネル7尺 (関東間/2128×924 t=2.0) (関西九州・四国間/2128×1024 t=2.0)	2	3	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	パネル8尺 (関東間/2432.5×924 t=2.0) (関西九州・四国間/2432.5×1024 t=2.0)	—	—	—	2	3	4	—	—	—	—	—	—	—
	パネル9尺 (関東間/2737×454 t=2.0) (関西九州・四国間/2737×504 t=2.0)	—	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	—	—
	パネル10尺 (関東間/3042×454 t=2.0) (関西九州・四国間/3042×504 t=2.0)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	3	4	—
	パネル12尺 (関東間/3651×454 t=2.0)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2
パネル15尺 (関東間/4565×454 t=2.0)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2
Rタイプ	パネル7尺 (関東間/2248×924 t=2.0) (関西九州・四国間/2248×1024 t=2.0)	2	3	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	パネル8尺 (関東間/2552.5×924 t=2.0) (関西九州・四国間/2552.5×1024 t=2.0)	—	—	—	2	3	4	—	—	—	—	—	—	—
	パネル9尺 (関東間/2857×454 t=2.0) (関西九州・四国間/2857×504 t=2.0)	—	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	—	—
	パネル10尺 (関東間/3161.5×454 t=2.0) (関西九州・四国間/3161.5×504 t=2.0)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	3	4	—

④ 長さセット(9~15尺)

名 称	員 数					
	1.0間	1.5間	2.0間	2.5間通し	3.0間通し	
前枠	1	1	1	1	1	
垂木掛け	1	1	1	1	1	
パネル押え ※Rタイプには入っていません	4	6	8	10	12	
グレチャン	4	6	8	10	12	
堅樋	1	1	2	2	2	
フチルシーリング材	1	1	1	1	1	
φ6×70六角タッピンネジ1種	5	5	7	7	7	
M6平座金	5	5	7	7	7	
雨樋部品	雨樋アタッチメント	1	1	2	2	2
	穴ふさぎキャップ	1	1	—	—	—
	雨樋バックシン	2	2	2	2	2
	エルボ(92°)	2	2	4	4	4
	ドレンエルボ	1	1	2	2	2
	でんでん	3	3	6	6	6
	接着剤	1	1	1	1	1
	φ4×14トラスタッピンネジ3種	7	7	10	10	10

⑤ 桁セット

名 称	員 数	
	1.0~2.0間	2.5・3.0間
補強桁	1	1
φ4×12トラスタッピンネジ3種	5	8

⑥ 野縁A1セット

名 称	員 数				
	6本入	9本入	12本入	15本入	18本入
野縁A	6	9	12	15	18

⑦ 野縁A2セット(ハーフピッチ用)

名 称	員 数				
	8本入	12本入	16本入	20本入	24本入
野縁A(ハーフピッチ用)	8	12	16	20	24

⑧ 端部垂木セット

名 称	員 数			
	7・8尺	9・10尺	12尺	15尺
端部垂木(左) ※Fタイプ7~10尺に左右はありません	1	1	1	1
端部垂木(右) ※Fタイプ7~10尺に左右はありません	1	1	1	1
端部垂木カバー(左) ※Fタイプに左右はありません	1	1	1	1
端部垂木カバー(右) ※Fタイプに左右はありません	1	1	1	1
大型用端部垂木端部キャップ	—	—	4	4
M4×12(+)六角ボルト	2	2	2	2
M4平座金	2	2	2	2
φ4×12トラスタッピンネジ3種	8	6	6	6
φ4×12ワッシャーヘッドタッピンネジ2種 D=10	41	53	61	77